

XT-3MD/XT-300MD (J)

[本体部]

[アンプ部]

実用最大出力..... 50 W+50 W(EIAJ 6Ω)
 スーパーウーファープリアウト..... 2.0 V / 700 Ω
 入力感度/インピーダンス (インプットレベル"0")
 AUX 440 mV / 47 KΩ
 周波数特性
 AUX 20 Hz~50 kHz、(+0 dB、-3 dB)

[チューナー部]

FMチューナー部
 受信周波数範囲 76 MHz~108 MHz

AMチューナー部

受信周波数範囲 531 kHz~1,629 kHz

[MDレコーダー部]

読み取り方式.....非接触光学式読み取り
 (半導体レーザー)

記録方式.....磁界変調オーバーライト方式
 音声圧縮方式.....ATRAC
 D/Aコンバーター.....1 Bit
 ワウ・フラッター(EIAJ).....測定限界以下

[CDプレーヤー部]

読み取り方式.....非接触光学式読み取り
 (半導体レーザー)

D/Aコンバーター.....1 Bit
 サンプリング周波数.....8 fs (44.1 kHz)
 周波数特性 (EIAJ) 20 Hz~20,000 Hz
 ワウ・フラッター (EIAJ).....測定限界以下

[カセットデッキ部]

トラック方式.....4トラック2チャンネルステレオ
 録音方式.....交流バイアス (周波数: 105kHz)
 ヘッド
 録音/再生ヘッド.....1
 消去用.....1
 モーター.....DCモーター X1
 ワウ&フラッター.....0.19% (W.RMS)
 早巻き時間.....約100秒 (C-60)

[電源部・その他]

電源電圧・電源周波数.....AC100V, 50Hz/60Hz
 定格消費電力 (電気用品取締法に基づく表示) ... 100 W
 最大外形寸法 幅 220 mm
 高さ 305 mm
 奥行 362 mm
 質量 (重量) 7.7 kg (正味)

[スピーカー部]

エンクロージャー.....バスレフ(防磁)型
 スピーカー構成
 ウーファー.....130 mm コーン型
 ツイーター.....50 mm コーン型
 ツイーター.....25 mm ドーム型
 インピーダンス.....6 Ω
 最大入力.....60 W
 最大外形寸法 幅 190 mm
 高さ 347 mm
 奥行 265 mm
 質量 (重量) 3.3 kg (1本)

- これらの定格およびデザインは、技術開発に伴い予告なく変更することがあります。
- 極端に寒い(水が凍るような)場所では十分な性能が発揮できないことがあります。

あなたが録音、録画したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。なお、デジタル録音機器(この商品)の価格には、著作権法の定めにより、私的録音補償金が含まれております。なお、私的録音補償金に関するお問い合わせは、右記をお願いいたします。

社団法人私的録音補償金管理協会
 東京都新宿区西新宿3丁目20番2号
 東京オペラシティタワー11階
 電話 (03) 5353-0336 (代表)
 FAX. (03) 5353-0337

KENWOOD

株式会社 ケンウッド

〒150-8501 東京都渋谷区道玄坂1-14-6

- 商品および商品の取り扱いに関するお問い合わせは、お客様相談室をご利用ください。
 お客様相談室 (東京) 電話 (03) 3477-5335 〒153-0042 東京都目黒区青葉台 3-17-9
 (大阪) 電話 (06) 357-5335 〒534-0024 大阪府都島区東野田町 1-20-5 (大阪京橋第一生命ビル)
- アフターサービスについては、お買い上げの販売店か、または、別紙「ケンウッド サービス網」をご参照のうえ、最寄りのサービスステーション、各営業所にご相談ください。

KENWOOD
NEW ALLORA

ミニハイファイ コンポーネント システム

XT-3MD
XT-300MD

取扱説明書

お買い上げいただきまして、
 ありがとうございます。
 機器を正しく、安全にご使用いただくため、
 使用を開始する前に必ず、この取扱説明書
 の「安全編」をお読みになり、十分にご理
 解ください。
 使いかたの説明も、併せてよくお読みくだ
 さるよう、お願いいたします。
 また、取扱説明書は大切に保管して、必要
 になったときにくり返してお読みください。
 本機は日本国内専用モデルですので、外国
 で使用することはできません。

株式会社 ケンウッド

KENWOOD CORPORATION

COMPACT
disc
DIGITAL AUDIO
TEXTMini
Disc

本機の特長

3枚チェンジャーのMDレコーダー、と3枚のCDチェンジャーを装備

デジタルならではの高音質を実現する3枚チェンジャーのMDレコーダーを装備しています。CDからのデジタルコピーが簡単にできます。

MDのディスクや曲に名前を登録してディスプレイに表示したり、曲順の並べかえなど、便利な機能を満載しています。さらにMDとCDに独立したマルチコントロールつまみを装備した、操作性に優れた一体型高性能コンポーネントシステムです。

スリムなボディーサイズと、ディスプレイにはブルーのバックライト付き液晶を装備

本機はセットの横幅(本体部)を220ミリにした、コンパクトスペースに対応した設計です。またディスプレイ部はコントラストの可変ができるブルーのバックライトディスプレイを採用してより高品位な表示を演出しました。

CDのテキスト情報表示機能(CD-TEXT 対応)

CDに収録された各種のテキスト情報(ディスクタイトル、曲名)を表示することができます。(文字の種類によっては表示されないことがあります。)

エリア別FM放送局名自動表示機能

都道府県を設定すると、その地域で受信可能なFM放送局の周波数と放送局名を自動的に設定します。FM放送を受信しているときには、表示部に放送局名が表示されます。

3D SURROUND

3次元的な音響空間を造り出すシステムです。奥行き感や音場の広さなどが通常の再生よりも向上し、リスニングエリアも広がります。

便利な録音あれこれ

目的別に使える、多彩な録音機能があります。CDからMD、CDからテープへの編集録音もできます。

CD TWIN REC : CD(1枚)の全曲またはお好きな曲を、MDとテープに同時録音ができます。
ワンタッチエディット録音 : CD(3枚)の全曲またはお好きな曲を、ワンタッチでMDまたはテープへの録音ができます。
プログラム録音 : CDまたはMDの曲順を並べ替えてMDまたはテープに録音することができます。
BEST HITS録音 : シングルCDなどの1曲目だけを次々に録音していく機能です。録音中でも他の2枚のCDを取り替えることができるので、MDまたはテープがいっぱいになるまで続けて録音できます。

便利なタイマー機能

2つの内容を登録できるほか、次の便利な働きがあります。

AIタイマー機能 : タイマー再生開始後、徐々に音量が大きくなり、一定のレベルまで上がります。
O.T.T.機能 : 時刻をセットするだけのカンタンな操作で、1回限り1時間だけのタイマー再生が設定できます。
スリープ機能 : 設定した時間を過ぎると自動的にパワーがオフになります。就寝時など音楽を聴きながら、お休みにしたいときに便利です。

デモンストレーションについて

本機には、デモンストレーション機能があります。各動作を示す表示部が順に変化していきますが、音は変化しません。解除するときは、次の方法を行なってください。

DEMO OFF (デモンストレーション解除) :
"DEMO ON"中にSET/DEMO.キーを押す
DEMO ON (実行) :

電源がオンの時にSET/DEMO.キーを押す(2秒以上)

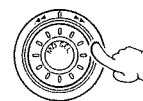


- 電源がオン状態のとき、停電があったり電源プラグを抜き差しすると、自動的に"DEMO ON"になります。
- "DEMO ON"でチューナーの時、電波が弱いと"MUTE"状態になり音がでません。

表示部のコントラストの調整について

本機の表示部のコントラストをかえることができます。

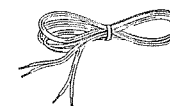
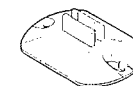
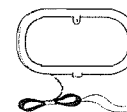
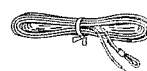
- 1 MENUキーを押す
- 2 マルチコントロールつまみを回して表示部から"CONTRAST"を選びSETキーを押す
- 3 再度マルチコントロールつまみを回しお好みの明るさを選びENTERキーを押す



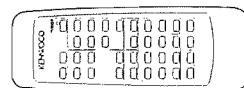
付属品

次の付属品がそろっていることを確認してください。

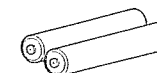
FM 室内アンテナ(1本) AM ループアンテナ(1個) AMループアンテナスタンド (1個) スピーカーコード(2本)



リモートコントロールユニット(1個)



リモコン用単3乾電池 (R6/SUM-3) (2本)



安全編

安全にお使いいただくために

△安全上のご注意(必ずお読みください) 5

準備編

音を出す前に

接続のしかた 9
各部のなまえと働き 12
本体部 12
表示部 14
リモコン部 15
リモコンの使いかた 16
マルチコントロールつまみの使いかた 17

基礎編

「聴く」、「録る」の基本です

基本的な使いかた 18
CDを聴く 20
MDを聴く 22
MDの聴きたい曲をタイトルで探す (MDタイトルサーチ) 24
テープを聴く 26
放送を聴く 28
放送局を一局づつ記憶させる (マニュアルプリセット) 29
放送局をオートプリセットする (エリア別FM放送局名自動表示) 30
MDに録音する 32
テープに録音する 34

応用編

楽しさが広がります

CDやMDのいろいろな再生 36
曲順を並べ換えて聴く(プログラム再生) 36
繰り返し聴く(リピート再生) 38
ランダム再生を楽しむ 40
便利な録音あれこれ 42
CDからMDとTAPEへ同時に録音する (CD TWIN REC) 43
CDの全曲、1曲をワンタッチで録音する (ワンタッチエディット録音) 44
曲順を並べかえて録音する(CD→MD) (プログラム録音) 46
曲順を並べかえて録音する(CD→TAPE) (プログラム録音) 47

複数のCDの1曲目だけを録音、再生する (BEST HITS機能) 48
MDの編集機能 49
編集機能のタイプを選ぶ 49
曲順をまとめて入れ換える(QUICK MOVE) 50
曲順を1曲ずつ入れ換える(TRACK MOVE) 52
曲を分ける(TRACK DIVIDE) 54
曲をつなぐ(TRACK COMBINE) 56
曲をまとめて消す(QUICK ERASE) 58
1曲消す(TRACK ERASE) 60
MD内の曲を全て消す(ALL ERASE) 61
曲の一部を消す 62
ミニディスクや曲にタイトルをつける (または変更、消去をする) 63
タイトルをコピーして、他のミニディスクや曲につける(TITLE COPY) 65
編集した内容を取り消す(EDIT CANCEL) 67
効果的な音質調整 68
音場効果を楽しむ 68
お好みの音質で音楽を聴く (イコライザー機能) 68
バランスとAUXインプットレベルの調整 69
時刻合わせ 70
タイマーを使う 71
簡単にタイマーを設定する (Operate easy To use Timer : O.T.T.) 71
音楽を聴きながら眠る(SLEEP 機能) 72
プログラムタイマー予約 73

知識編

知っているとか何かと便利です

知っておきましょう 76
メンテナンス 76
参考 76
CDの取り扱いかた 77
ミニディスクの取り扱いかた 77
故障かな?と思ったら 79
保証とアフターサービス (よくお読みください) 83
定格 84

製品を安全にご使用いただくため、「安全上のご注意」をご使用前によくお読みください。

この「安全上のご注意」には、当社の本機以外のオーディオ機器全般についての内容も記載しています。(説明項目の中には、操作説明部と重複する内容もあります。)

絵表示について

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為に、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容を良く理解してから、本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△記号は、注意(危険・警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容(左図の場合は感電注意)が描かれています。



⊘記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。



●記号は、行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け)が描かれています。

お客様または第三者が、この製品の誤使用・故障・その他の不具合およびこの製品の使用によって受けられた損害につきましては、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

この製品の故障・誤動作・不具合などによって発生した次に掲げる損害などの付随的損害の補償につきましては、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
●お客様または第三者がテープ・ディスクなどへ記録された内容の損害
●録音・再生などお客様または第三者が製品利用の機会を逸したことによる損害

安全編

準備編

基礎編

応用編

知識編

安全編

警告

安全上のご注意

XT-3MD/XT-300MO (J)

安全痛



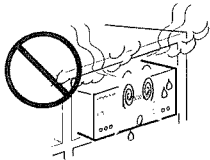
指定以外の電圧では使用しない
この機器は、交流100ボルト専用です。交流100ボルト以外の電圧で使用しないでください。
《交流100ボルト以外の電圧で使用すると、火災、感電の原因になります》



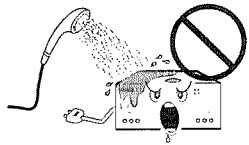
放熱に注意
設置の際は、壁から10cm以上離してください。機器のカバー等にある穴は、放熱のための通風孔です。ふさがないように、ご注意ください。



- 風通しの悪い、狭い所に押し込まない。
- 横倒し、あおむけ、逆さまに置かない。
- 布を掛けたり、じゅうたん、布団の上に置かない。
《通風孔がふさがると、内部が異常高温となり、火災の原因になります》

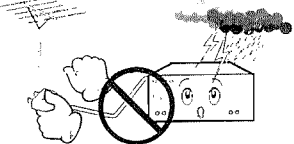


風呂、シャワー室では使用しない
風呂、シャワー室など、湿度の高いところや、水はねのある場所で使用しないでください。
《火災や感電の危険があります》



雷が鳴り始めたら
アンテナ線や電源プラグに触れないでください。
《感電の危険があります》

接触禁止



乾電池は充電しない
乾電池は充電しないでください。
《電池の破裂、液漏れにより、火災や、けがの原因になります》

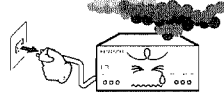


異常が起きた場合は
煙が出たり、変な臭いや音が出る場合、機器の使用を中止してください。
《火災や感電の危険があります》

- 直ちに電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いてください。
- 煙や、異臭、異音が消えたのを確かめてから修理をご依頼ください。



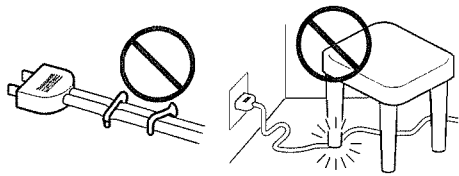
電源プラグをコンセントから抜く



電源コードの取扱い
電源コードを傷つけないでください。無理な曲げ、ねじり、引っ張りや、加熱、加工などを加えないよう、ご注意ください。

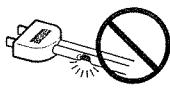


- 電源プラグをコンセントに接続するときは、次のことに十分ご注意ください。
- 電源コードの上に機器本体や、重いものを置かない。
 - 敷物の下に電源コードを隠さない。
 - 電源コードをステーブルや釘などで固定しない。
 - 足を引っ掛けられる恐れがある配線をしない。
《コードが傷つき、火災や感電の原因になります》



電源コードが傷ついたら（芯線の露出や断線など）使用しないでください。
《火災や感電の危険があります》

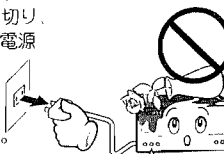
- 修理をご依頼ください。



機器の内部に水を入れない
花びんやコップなど水の入った容器を機器の上に置かないでください。内部に水が入った場合、機器の使用を中止してください。
《火災や感電の危険があります》



電源プラグをコンセントから抜く



警告

安全上のご注意

XT-3MD/XT-300MO (J)

安全痛

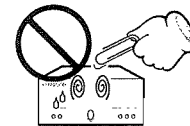


機器の内部に異物を入れない
内部に異物が入った場合、機器の使用を中止してください。
《火災や感電の危険があります》

- 電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いてください。
- 点検、修理をご依頼ください。



電源プラグをコンセントから抜く

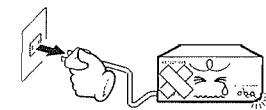


落下した機器は使わない
落したり、カバーやケースがこわれた機器を、使用しないでください。
《火災や感電の危険があります》

- 電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いてください。
- 点検、修理をご依頼ください。



電源プラグをコンセントから抜く

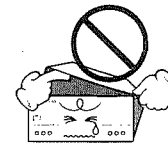


電池を放置しない
電池は、幼児の手の届かないところに置いてください。ボタン電池など小型の電池は特にご注意ください。
《電池を飲み込むおそれがあります》

- 万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師にご相談ください。



分解禁止



ケースを絶対に開けないでください

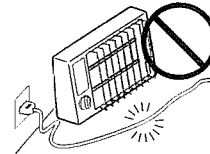
機器の裏ふた、カバーを開けたり、改造をしないでください。
《内部には電圧の高い部分があり、火災や感電の危険があります》

- 点検、修理は販売店またはケンウッド営業所へご依頼ください。

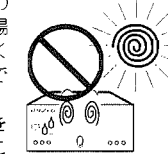
注意



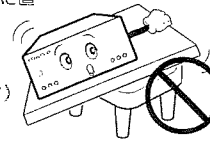
電源コードを熱器具に近付けない
電源コードを熱器具（ストーブ、アイロンなど）に近付けないでください。
《コードの被覆が溶けて、火災、感電の原因になります》



温度の高い場所には置かない
窓を閉めきった自動車の中や、直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。
《本体や部品に悪い影響を与え、火災の原因になることがあります》



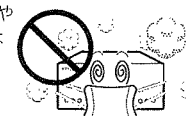
不安定な場所には置かない
ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。
《落ちたり倒れたりして、けがの原因になることがあります》



電源プラグをコンセントから抜く



湿気やほこりのある場所に置かない
油煙や湯気の当たる調理台、加湿器のそばや、湿気やほこりの多い場所には置かないでください。
《火災や感電の原因になることがあります》



音量に気をつけて
はじめに、音量（ボリューム）を最小にしてください。
《突然大きな音が出て、聴力障害の原因になることがあります》

ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないようにご注意ください。
《耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力障害の原因になることがあります》

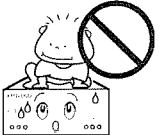
注意

安全上のご注意

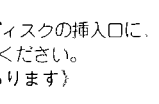
XT-3MD/XT-300MD (J)

安全編


機器に乗らない
お子様が機器に乗ったり、ぶら下がったりしないように、ご注意ください。
〈倒れたり、こわれたりして、けがの原因になることがあります〉




指をはさまない
お子様がカセットテープやディスクの挿入口に、手を入れないように、ご注意ください。
〈けがの原因になることがあります〉





指定以外のコードを使わない
関連機器を接続する際は、それぞれの機器の取扱説明書をよく読み、接続には、指定のコードをご使用ください。
〈指定以外のコードの使用や、コードの延長は、発熱ならびに、やけどの原因になることがあります〉
●指定コードが不明の場合は、販売店にご相談ください。




電池の取扱い
電池は誤った使い方をすると、感電、破裂、発火の危険があります。
また、乾電池は液漏れにより機器を腐食させたり、手や衣類を汚す原因にもなります。
次のことを、必ず守ってください。




- 極性表示(プラス "+"とマイナス"-")の向き)に注意し、表示通りに入れてください。

- 指定以外の電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。
- 電池は、加熱したり、分解したり、火や水の中に入れてください。



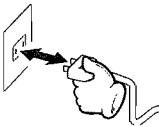
電源プラグは清潔に
1年に1度くらいは、電源プラグをコンセントから抜いて清掃してください。
〈電源プラグにほこりがたまると、火災の原因になることがあります〉



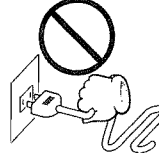
お手入れの際は
お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
〈電源プラグをコンセントに接続したままの作業は、感電の原因になることがあります〉



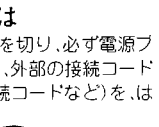
電源プラグの抜き差しは
濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
〈感電の原因になることがあります〉



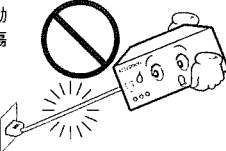
電源プラグを抜くときは、プラグを持って抜いてください。



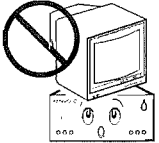
コードを引っ張らないでください。
〈コードの部分を引っ張ると、コードが傷つき、火災や感電の原因になることがあります〉



機器を移動させる際は
移動の前に、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コード(アンテナ線や機器間の接続コードなど)を、はずしてください。
〈接続したまま移動すると、コードが傷つき、火災、感電の原因になることがあります〉



指定機器以外のものを乗せない
機器の上に指定機器以外の物を乗せないでください。
〈乗せた物の落下により、けがをする原因になることがあります。また、乗せた物の形や重量によっては、放熱効果が悪化したり、カバーやケースが変形して、火災、感電の原因になることもあります〉



3年に1度程度を目安に、機器内部の点検、清掃をお勧めします。もよりの販売店、またはケンウッド営業所に費用を含めご相談ください。
〈内部にほこりがたまったまま長期間使用すると、火災や故障の原因になることがあります〉



接続のしかた

XT-3MD/XT-300MD (J)

準備編

システムと付属品の接続

本体と付属品の接続方法です。

注意 接続のご注意

接続をするときは、図のように行なってください。接続が終了してから、電源コードのプラグをコンセントに差し込んでください。

マイコンの誤動作について

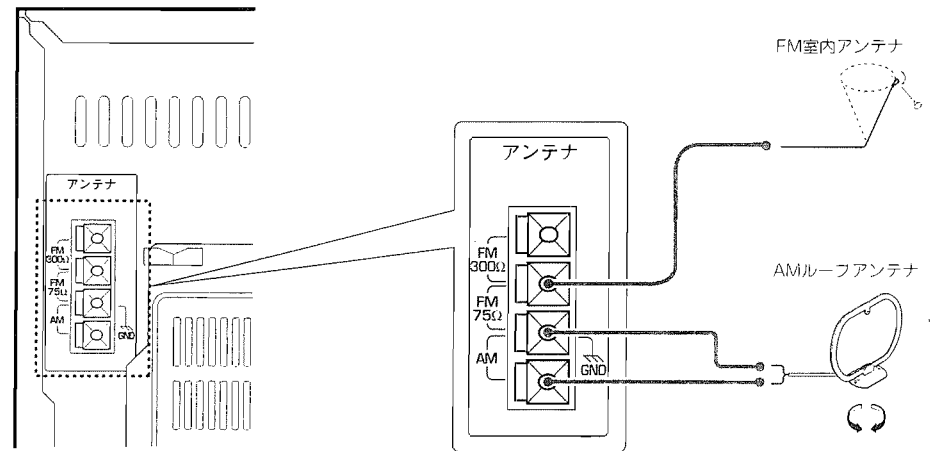
正しく接続したのに動作ができなかったり、ディスプレイが誤った表示をする場合は、"故障かな?と思ったら"を参照してマイコンをリセットしてください。



スピーカーの設置とテレビについて

1. このシステムのスピーカーは、テレビとの近接使用が可能な防磁型(EIAJ規格)ですが、設置のしかたによっては、色ムラを生じる場合があります。そのときは、一度テレビの電源を切り、15分~30分後に再びスイッチを入れてください。テレビの自己消磁機能により、画面への影響が改善されます。その後も色ムラが残るような場合には、スピーカーを離してご使用ください。
2. 近くに磁石など磁気を発生するものが置かれている場合には、スピーカーとの相互作用により、テレビに色ムラが発生することがありますので、設置にご注意ください。
3. テレビからの電磁波の誘導作用により、ステレオの電源スイッチがオフのときでも、スピーカーから音が聞こえることがあります。その場合も、テレビからスピーカーを離して設置してください。

付属アンテナの接続



AMループアンテナ

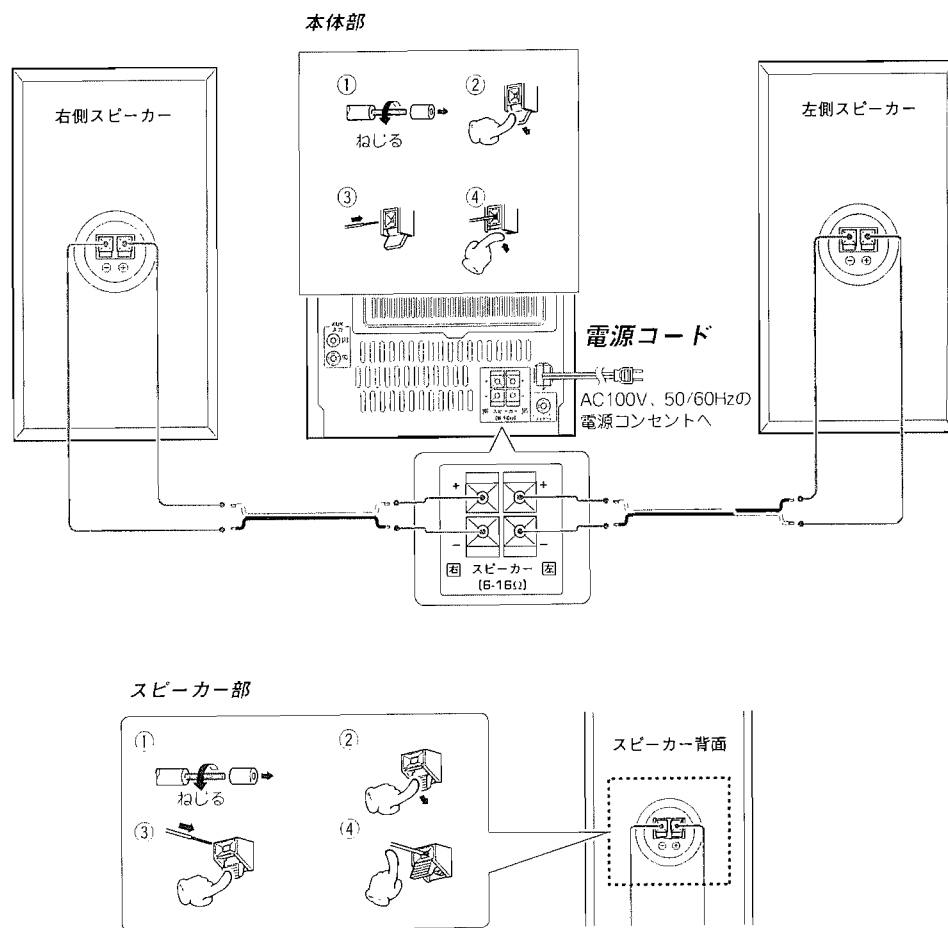
付属のアンテナは室内用です。本機、TV、スピーカーコード、電源コードからなるべく離れたところで、受信状態の一番よい方向に向けます。

FM室内アンテナ

付属のアンテナは室内用で、一時的に使用するものです。安定した受信のためには、屋外アンテナ(市販)の接続をお勧めします。屋外アンテナを接続したら、室内アンテナは取り外してください。

- ①コード先端の被覆を取り、ねじる。
- ②アンテナ端子に接続する。
- ③受信状態のよい位置をさがす。
- ④固定する。

本体部とスピーカー部のコード接続

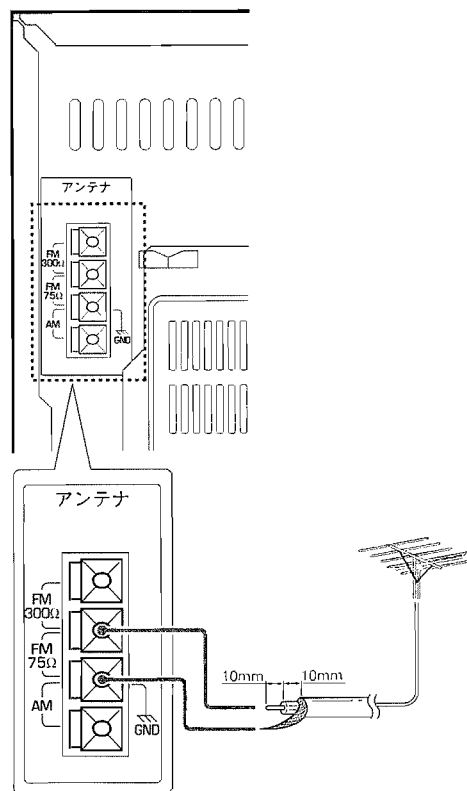


1. すべての接続コードは確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと、音が出なくなったり、雑音が発生することがあります。
2. 接続コードを抜き差しする場合は、必ず電源コードを電源コンセントから抜いてください。電源コードを抜かずに接続コードの抜き差しを行うと、誤動作または破損の原因となります。
3. スピーカーコードの+と-は絶対にショートさせないでください。
4. 左右を逆にしたり、極性を間違えて接続しますと、楽器などの位置がはっきりしない、不自然な音になります。正しく接続してください。

他の機器(別売品・市販品)との接続

FM屋外アンテナの接続

75Ω同軸ケーブルを使って屋内へ引込み、FM75Ω端子に接続します。屋外アンテナを接続したら、室内アンテナは取り外してください。



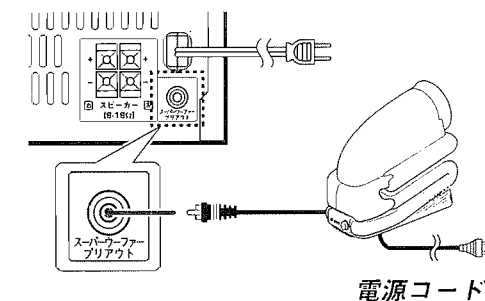
⚠ 注意 屋外アンテナ設置上のご注意

アンテナ工事には、技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。アンテナは送配電線から離れた場所に設置してください。アンテナが、倒れた場合感電の原因になることがあります。

スーパーウーファー (SW-05)

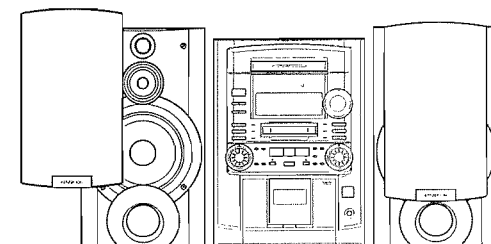
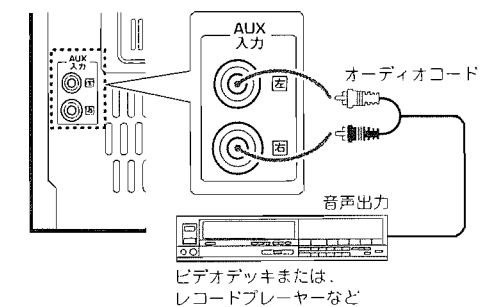
(別売)との接続

重低音を力強く再生します。どのような再生のときでも使用できます。



外部入力端子 (AUX)

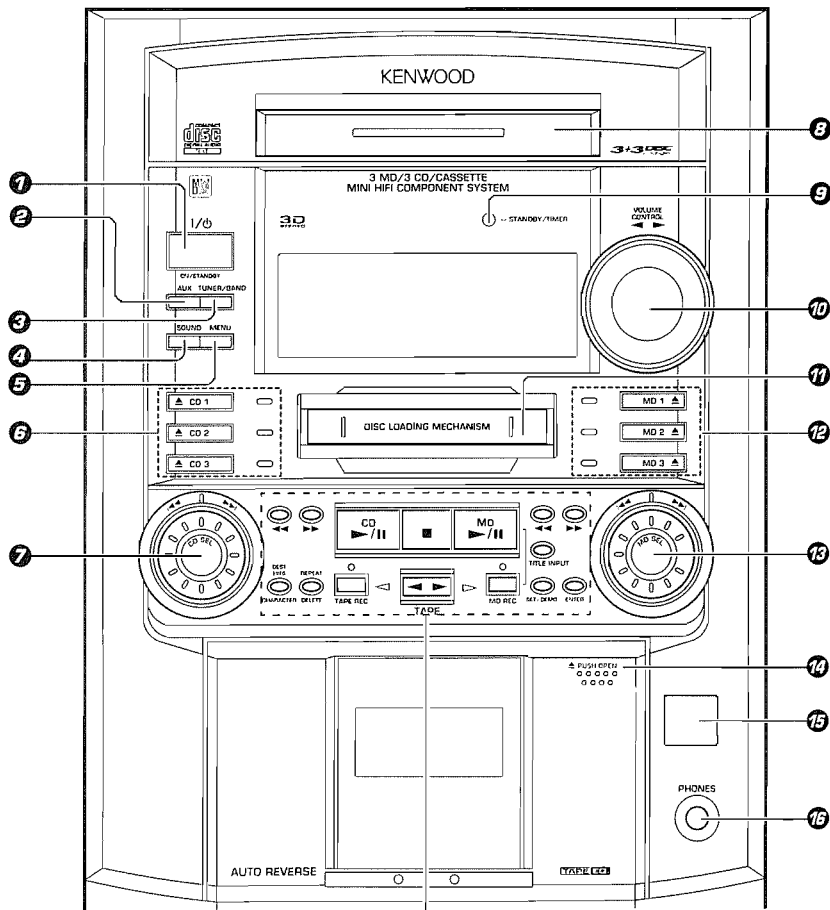
背面の外部入力端子 (AUX) 端子を使ってビデオデッキ、RIIAイコライザーアンプ内蔵のレコードプレーヤー/P-110 (別売)などを接続することができます。



本体部

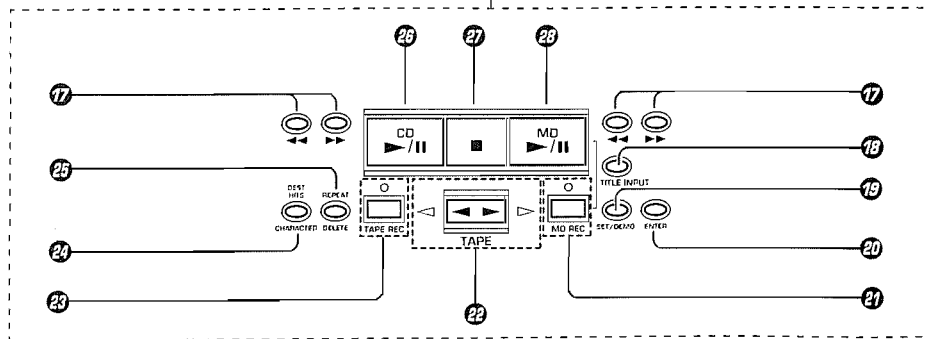
XT-3MD/XT-300MD (J)

XT-3MD/XT-300MD (J)



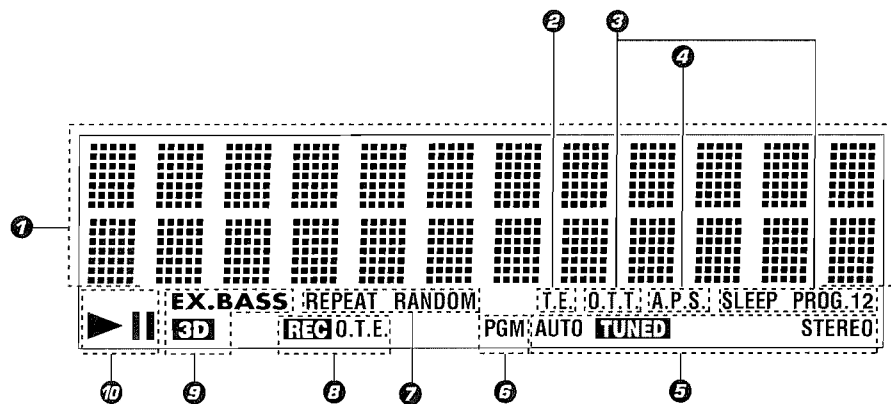
準備編

準備編



- ① ON/STANDBYキー (I/O)
電源のオン/スタンバイを切り換えます。
- ② AUXキー
AUX (アナログ外部入力端子)に接続した入力ソースを聴くときに使います。
- ③ TUNER/BANDキー
チューナーに入力を切り換えます。
放送バンドを切り換えます。
- ④ SOUNDキー
EX.BASS、3D SURROUNDを切り換えます。
- ⑤ MENUキー
左右のマルチコントロールつまみの機能を切り換えます。
時刻合わせをするときに使います。
- ⑥ "▲ CD 1-3"トレイ開閉キー/表示灯
CDのとき:
曲の飛び越し、ディスクの選択に使います。
TUNERのとき:
プリセットしたチャンネルの選択に使います。
その他の設定時:
時計設定時の調整、プログラムタイマーなどの設定に使います。
- ⑦ CDマルチコントロールつまみ (◀▶) CD SEL.)
CDのとき:
曲の飛び越し、ディスクの選択に使います。
TUNERのとき:
プリセットしたチャンネルの選択に使います。
その他の設定時:
時計設定時の調整、プログラムタイマーなどの設定に使います。
- ⑧ CDトレイ
3枚のCDを収納できます。
- ⑨ "STANDBY/TIMER"表示灯
STANDBY状態(電源がオフ): 赤の点灯
通電状態(電源がオン): 消灯
タイマー作動中: 緑の点灯
- ⑩ VOLUME CONTROLつまみ
音量の調節に使います。
- ⑪ ミニディスク挿入口
3枚のMDを収納できます。
- ⑫ MDイジェクトキー (▲)/表示灯
MDを取り出すときに使います。
- ⑬ MDマルチコントロールつまみ (◀▶) MD SEL.)
MDのとき:
曲の飛び越し、ディスクの選択に使います。
タイトル入力時の文字の選択や、編集時の曲の選択等に使います。
TUNERのとき:
プリセットしたチャンネルの選択に使います。
その他の設定時:
時計設定時の調整、プログラムタイマーなどの設定などに使います。
- ⑭ カセットホルダー
- ⑮ リモコン受光部
- ⑯ PHONES端子
ステレオミニプラグのヘッドフォン(別売)を接続します。
- ⑰ 早送り、早戻しキー (◀▶)
CD(左側)、MD(右側)
再生時のサーチ(曲の早送り、早戻し)キーとして使います。
【以下は左右とも同じ働きをします】
TAPEのとき:
早送り、早戻しに使います。
TUNERのとき:
放送局の選局に使います。
その他、MDの編集などに使います。
- ⑱ TITLE INPUTキー
MDのタイトル入力モードの選択に使います。
- ⑲ SET/DEMO.キー
左右のマルチコントロールつまみで選択した項目の設定や確認などに使います。
デモストレーションのオン/オフに使います。
- ⑳ ENTERキー
各種の選択モードの設定や確認などに使います。
- ㉑ MD録音キー (MD REC)
MDに録音をするときに使います。
- ㉒ テープ再生キー (TAPE ◀▶)/表示灯
テープの再生、走行方向の切り換えと再生、録音中走行方向の表示をします。
- ㉓ テープ録音キー (TAPE REC)
テープの録音に使います。録音中に押すと、約4秒間の無音部分(空き)を作ってから一時停止します。
- ㉔ BEST HITSキー
BEST HITS再生/録音する時に使います。
- ㉕ CHARACTERキー
MDのタイトル入力時の文字種類の選択に使います。
- ㉖ REPEATキー
CD、MDを繰り返し再生するときに使います。
- ㉗ DELETEキー
MDのタイトル入力時の文字の消去に使います。
- ㉘ CD再生/一時停止キー (CD ▶/||)
CDプレーヤーに入力を切り替え、再生を開始します。
CD再生中に押すと一時停止をします。
- ㉙ 停止キー (■)
スタンバイ中に押すと数秒間時計表示になります。
- ㉚ MD再生/一時停止キー (MD ▶/||)
MDレコーダーに入力を切り換え、再生を開始します。
MD再生中に押すと一時停止をします。
MD録音中に押すと録音一時停止をします。

表示部



① 各種文字情報表示部

周波数表示、時間表示、トラックNo、プログラムNo、入力切り換え、音量レベル、ディスク/トラックタイトル、などの文字情報を表示します。

② T.E.(テープイコライザー表示) :

テープイコライザー再生時に表示します。

③ タイマー関連表示

O.T.T. :

ワンタッチタイマー動作時に表示します。

SLEEP:

スリープタイマーの動作時に表示します。

PROG. 1 2:

プログラム1 /2の動作時に表示します。

④ A.P.S.:

オートパワーセーブ中に表示します。

⑤ 放送受信関連表示

AUTO:

オート選局時に表示します。マニュアル選局時は表示しません。

TUNED:

受信時に表示します。

STEREO:

ステレオ受信時に表示します。モノラル受信時は表示しません。

⑥ PGM(編集表示):

CD、MDの曲順をプログラムするときに表示します。

⑦ 再生関連表示

REPEAT:

CD、MDのリピート再生時に表示します。

RANDOM:

CD、MDのランダム再生時に表示します。

⑧ 録音関連表示

REC:

録音時に表示します。

録音の一時停止中は点滅表示になります。

O.T.E. :

ワンタッチエディット録音時に表示します。

⑨ EX.BASS:

エクストラ バスの再生時に表示します。

3D:

3D サラウンドの再生時に表示します。

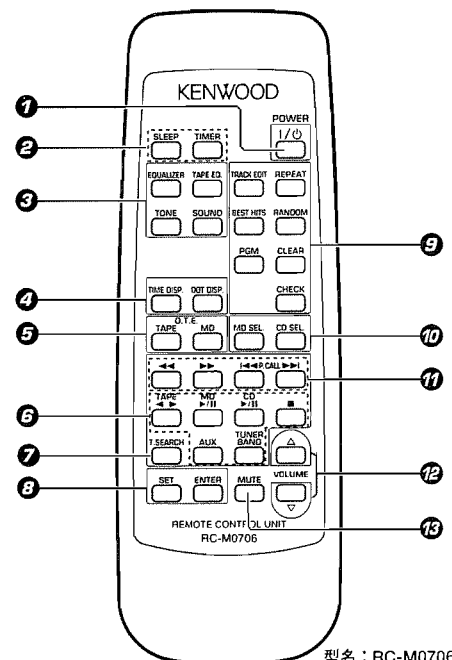
⑩ ▶ || 表示:

CD、MDの再生(▶)と一時停止(||)の状況を表示します。

液晶表示素子(LCD)について

本機で使用している液晶表示素子は、温度により色が変化する性質を持っています。室温の高い部屋や大音量で長時間動作させた場合に色調が紫色に変化することがありますが、温度が下がれば元に戻りますので安心してご使用ください。

リモコン部 本体部と同じ名前のキーは、本体部と同じ働きをします。



型名: RC-M0706
赤外線方式

① 1/⏻キー(POWER)

電源のオン/スタンバイを切り換えます。

② SLEEPキー

おやすみタイマーを設定するときに使います。

③ TIMERキー

タイマーの実行/解除をするときに使います。

④ SOUNDキー

EX. BASSと3D SURROUNDを切り換えます。

⑤ TONEキー

低音、高音の調整に使います。

⑥ TAPE EQ.キー

テープイコライザーをオン/オフするときに使います。

⑦ EQUALIZERキー

3種類のイコライザーパターンを選ぶときに使います。

⑧ TIME DISP.キー

CDとMDの再生時間などの表示を切り換えます。

⑨ DOT DISP.キー

ドット表示部の表示モードを切り換えます。

⑩ TAPE O.T.E. キー / MD O.T.E. キー

CDの再生中に押すと、そのとき再生している曲だけをテープまたはMDに録音します。停止中に押すと、CDを、全曲録音します。

⑪ 基本操作キー

TAPE ◀ ▶ キー, MD ▶ || キー, CD ▶ || キー
停止キー(■), AUXキー, TUNER BANDキー

⑫ T. SEARCHキー

MDのトラックタイトルを探すときに使います。

⑬ SETキー

MDの編集処理の設定や、マルチコントロールつまみで選択した項目の設定や確定などに使います。

ENTERキー

MDの編集処理の実行や、入力したタイトルの確定などに使います。チューナー時はプリセットメモリの確定に使います。

⑭ CD、MD 関連キー

TRACK EDITキー

MDの曲を編集するとき、曲の入れ換え消去などに使います。

REPEATキー

繰り返し再生するときに使います。

BEST HITS キー

BEST HITS再生/録音するときに使います。

RANDOMキー

曲順をランダムに並べかえるときに使います。

PGMキー

CD、MDの時:

曲順を並べかえるときに使います。

TUNERの時:

AUTO (オート選局、ステレオ受信)とマニュアル(マニュアル選局、モノラル受信)の切り換えを行います。

CHECKキー

並べかえた曲順を確認するときに使います。

CLEARキー

並べかえた曲を取り消すときに使います。

⑮ CD SEL. キー

ディスクを選ぶ時に使います。

⑯ MD SEL. キー

ディスクを選ぶ時に使います。

⑰ 基本操作キー

◀▶ キー(早送り、早戻し)

TAPEの時:

早送り、早戻しに使います。

CD、MDの時:

曲の早送り、早戻しに使います。

◀▶ キー(P.CALL / スキップ)

TUNERの時:

記憶させた放送局を受信するときに使います。

CD、MDの時:

スキップ(曲の飛び越し)に使います。

⑱ VOLUME CONTROL (Δ, ▽) キー

一時的に音を消したい時に使います。

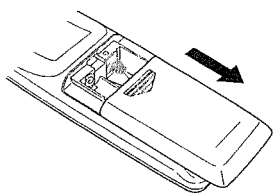
⑲ MUTE キー

一時的に音を消したい時に使います。

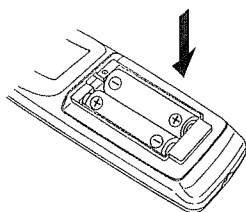
XT-3MD/XT-3DDMD (J)

電池の入れかた

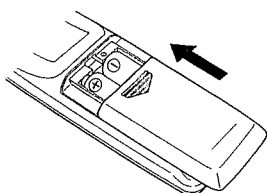
① カバーを開く



② 電池を入れる



③ カバーを閉める



● 単3乾電池 (R6/SUM-3) 2個を極性マークに従って入れる。

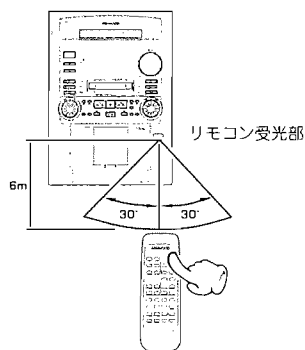
操作のしかた

本体の電源プラグをコンセントに差し込み、リモコンのI/Oキーを押すと、電源がオンになります。電源がオンになったら、操作したいキーを押します。

電源をオフにするときは、再度I/Oキーを押します。
"STANDBY/TIMER"表示灯のみが赤く点灯するスタンバイ状態になります。

● リモコンの各操作キーを押してから次のキーを押すときは、約1秒以上の間隔をあけて押してください。

操作範囲のめやす



リモコン受光部

1. 付属の乾電池は動作チェック用のため、寿命が短いことがあります。ご了承ください。
2. 操作できる距離が短くなったら、2個とも新しい電池と交換してください。
3. リモコン受光部に直射日光や高周波点灯(インバーター方式等)の蛍光灯の光が当たると、正しく動作しないことがあります。このような場合、誤動作を避けるために設置場所を変えてください。

XT-3MD/XT-3DDMD (J)

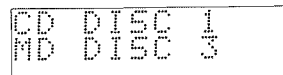
本機では、MENUキー、左右2つのマルチコントロールつまみ、SETキー、ENTERキーを使って、多くの機能を簡単に操作(設定)できます。

各モードの設定手順は以下のようになります。

- 1 MENUキー (選択モードに入る)
- 2 マルチコントロールつまみ (モードを選ぶ)
- 3 SETキー/ENTERキー (モードを確認する)

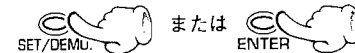
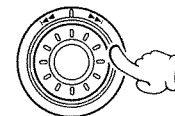


現在選ばれているディスクを表示します。



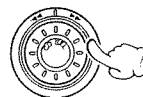
この状態でCDまたはMDマルチコントロールつまみを押すことにより、DISCの選択ができます。

マルチコントロールつまみを回して選びます。



- ① TAPE RUS.
(テープの再生/録音の走行方向の設定) - [26]
- ② 3D SURROUND (3D サラウンドオンの時のみ)
(3D サラウンドのレベル設定) - [68]
- ③ AUX INPUT (AUX入力の際のみ)
(外部入力機器のレベル設定) - [69]
- ④ BALANCE
(左右のバランスの設定) - [69]
- ⑤ D.T.E. MODE
(ワンタッチエディットの設定) - [29]
- ⑥ CD TWIN REC
(CDからMDとテープの同時録音) - [43]
- ⑦ TIMER
(タイマーの設定) - [21]
- ⑧ A.P.S.
(オートパワーオン/オフの設定) - [19]
- ⑨ CONTRAST
(表示部のコントラストの設定) - [3]

CDマルチコントロールつまみで調整できる主な項目です。



CD操作時:

- ・押すたびにCD1~3が切り換わります (CD SEL.)
- ・CDのスキップ(飛び越し)のアップ/ダウン

MD操作時:

- ・MDタイトル入力時のタイトルや文字の選択 - [63]

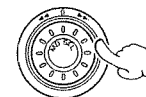
チューナー操作時:

- ・プリセットコール(P.CALL)のアップ/ダウン - [28]
- ・都道府県名の選択アップ/ダウン - [30]
- ・プリセットメモリーチャンネルのアップ/ダウン

その他の操作時:

- ・時計設定の"時"、"分"のアップ/ダウン - [20]
- ・タイマーの時間設定 - [21] ~ [24]

MDマルチコントロールつまみで調整できる主な項目です。



MD操作時:

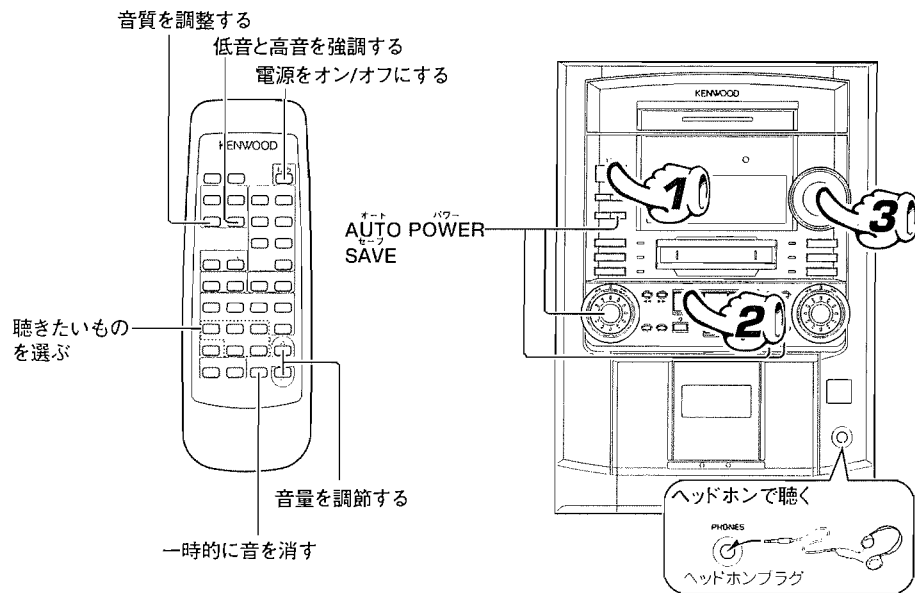
- ・押すたびにMD1~3が切り換わります (MD SEL.)
- ・MDのスキップ(飛び越し)のアップ/ダウン
- ・MDタイトル入力時のタイトルや文字の選択 - [63]
- ・MD編集の曲の選択 - [50] ~ [67]

チューナー操作時:

- ・プリセットコール(P.CALL)のアップ/ダウン - [28]
- ・都道府県名の選択アップ/ダウン - [30]
- ・プリセットメモリーチャンネルのアップ/ダウン

その他の操作時:

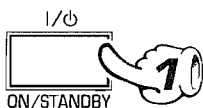
- ・時計設定の"時"、"分"のアップ/ダウン - [20]
- ・タイマーの時間設定 - [21] ~ [24]



基礎編

オン スタンバイ
ON/STANDBY (I/O) キーを押す

1. 電源をオンにする(オフにする)



電源がオンのときにON/STANDBY (I/O) キーを押すとオフ(スタンバイ)になります。

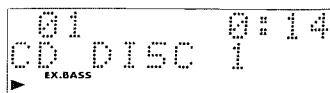
●電源がオフのときCD ▶/II、MD ▶/II、AUX、TAPE キーまたは、TUNER/BAND キーを押すと、電源がオンになり、その入力に切り換わり再生(受信)状態となります。(ワンタッチオペレーション機能)

2. 聴きたいものを選ぶ

(例) CDを選んだ場合

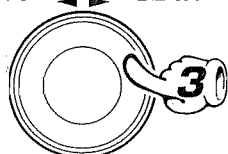


CD -20
MD -22
TAPE -26
TUNER -28
AUX -11-69



3. 音量を調節する

VOLUME CONTROL
音量を下げる 音量を上げる



●早く回すと、変化量が大きくなります。(AI VOLUME機能)
●表示部に目安の数字が表示されます。

一時的に音を消す (リモコンのみ)



●元の音量に戻すにはもう一度MUTEキーを押すか、VOLUME CONTROLキーで音量を操作したときのみ解除されます。

ヘッドホンで聴く

- ① ヘッドホンのプラグをPHONES端子に差し込む
 - スピーカーから音が出なくなります。
- ② 音量を調節する
 - プラグの抜き差しをするときは、先に音量を絞ってください。

スタンバイ・モードについて

本機では電源プラグがコンセントに接続されているとき、電源オフ(スタンバイ)時にスタンバイLEDが点灯します。メモリー保護のため、微弱な通電を行っているためです。これをスタンバイ状態といいます。スタンバイLEDが点灯しているとき、リモコン操作によっても電源のオンができます。スタンバイ中に停止(■)キーを押すと数秒間時計表示状態になります。

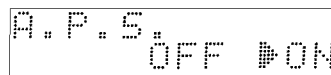
AUTO POWER SAVE機能について

電源がオンで、録音も再生もしていない状態のとき、約30分以上放置すると自動的に電源がオフ(スタンバイ)になる機能です。この機能は、次の操作で、使う/使わないを選べます。

- ① MENUキーを押す



- ② マルチコントロールつまみを回して"A.P.S"を選ぶ
- ③ SET/DEMO.キーを押す



- ④ 再度マルチコントロールつまみを回して、オン/オフの選択をし、ENTERキーを押して確定する
- この機能が働いている時は、表示部に"A.P.S"の表示が点灯します。
- TUNER,AUXの時は、VOLUMEがゼロの時、又は、MUTEが"ON"の時に限り働きます。

低音と高音を強調する (EX. BASS)

- EX. BASS ONを選ぶ
- 押すたびに切り換わります
- ① "EX. BASS ON"
 - ② "3D SURROUND ON"
 - ③ "SOUND MODE OFF"

音質の調整 (TONE CONTROL) (リモコンのみ)

- ① リモコンのTONEキーを押すと"BASS"の設定になります。リモコンの◀◀P.CALL▶▶キーでお好みのレベルを設定します。



- ② 再度TONEキーを押すと"TREBLE"の設定になります。リモコンの◀◀P.CALL▶▶キーで同様に設定します。

- ③ TONEキーで確定します。

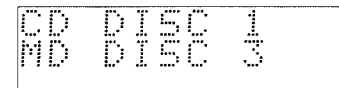


- BASS, TREBLEともに+8~-8の範囲で調節できます。

MENUキーについて

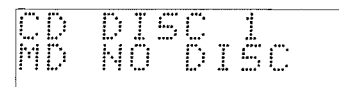
本機は各3枚のCD,MDを収納できるシステムです。MENUキーを押すことにより、選ばれているディスクを表示します。

MENUキーを押すと下記のように表示されます
CDが1枚目、MDが3枚目を表します



- この状態でCDまたはMDマルチコントロールつまみを押すことにより、DISCの選択ができます。

ディスクが挿入されていない状態の時は"NO DISC"と表示されます

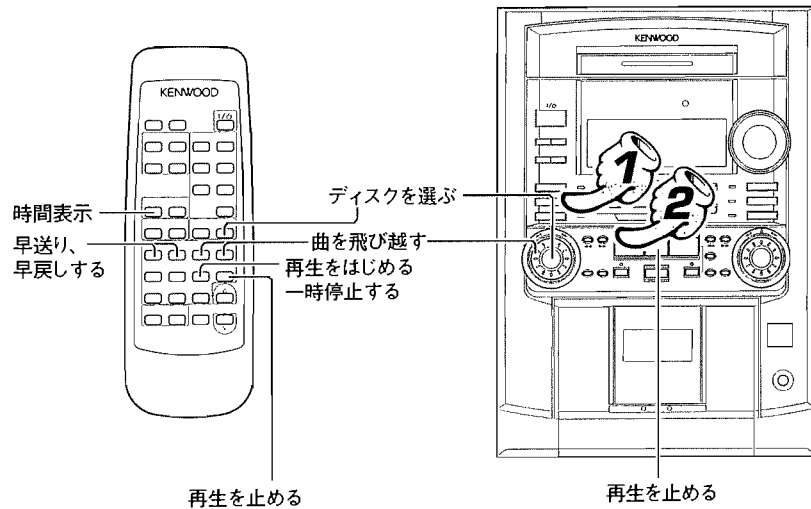


この表示の後マルチコントロールつまみを回すと選択モードに入ります。

基礎編



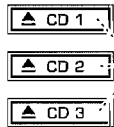
3枚のディスクを収納できます。再生中でも他の2枚のディスクの入れ替えができます。



再生を止める

再生を止める

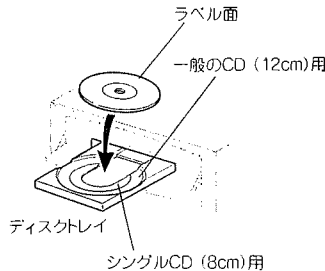
基礎編



1. ディスクを入れる

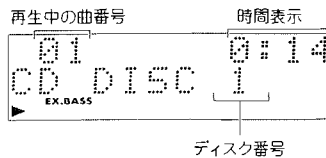
- ① トレイを開ける
- ② ディスクを入れる
- ③ トレイを閉める

①～③を繰り返して、3枚までディスクを収納できます。トレイを閉める時は▲CD1-3キーを押して閉めてください。



キーを押すとその番号のトレイが開き、もう一度同じキーを押すとそのトレイが閉じます。トレイが開いているときに別の番号キーを押すと、自動的にトレイが閉まってから、押した番号のトレイが開きます。

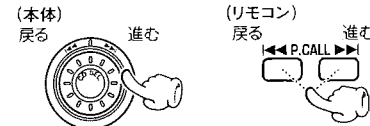
2. 再生をはじめ



ディスク取扱上のご注意

ディスクにセロハンテープやレンタルCDのシールなどの、糊がはみ出したり、剥がした跡のあるものはお使いにならないでください。そのまま再生すると、ディスクが取り出せなくなったり、故障の原因となることがあります。ディスクを2枚以上重ねていれると、故障の原因になります。

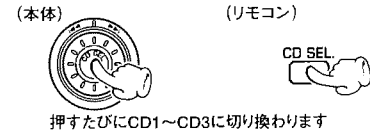
曲を飛び越す



- マルチコントロールつまみを回す(リモコンの◀◀P.CALL▶▶キーを押すと、選んだ曲の最初から再生します。
- 再生中にマルチコントロールつまみを左に回す(リモコンの◀◀キーを押すと、その曲の最初に戻り再生します。

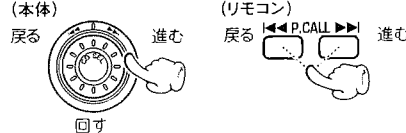
好きな曲から聴く

- ① ディスクを選ぶ



押すたびにCD1～CD3に切り換わります

- ② 曲を選ぶ



回す

早送り・早戻しする

(本体) (正面左側)



- 再生中に押すと、手を離れたところから再生します。

一時停止する



押すたびに、一時停止と再生が切り換わります。

再生を止める



基礎編

CDプレーヤーの時間表示について

(リモコンのみ)

CDの再生中に、TIME DISP.キーを押すたびにディスプレイの時間表示が切り換わります。



- 1:23 ① 曲の経過時間
- 2:37 ② 曲の残り時間
- T 23:50 ③ ディスク全体の経過時間
- T-36:50 ④ ディスク全体の残り時間

- PGM再生時やRANDOM再生時は、①と②のみです。

各トレイの状況は、表示灯の点灯、点滅によって表します。

- ▲ CD1 早い点滅..... トレイが開けられています。
- ▲ CD2 点灯..... ディスクが入っています。
- ▲ CD3 遅い点滅..... ディスクが再生中です。

- 再生面には、触れないようにします。
- 市販のCDシングル(8cm)ディスクアダプターは使用できません。

- 本機に複数のディスクが入っている場合、1枚の再生が終了したら自動的に次のディスクが再生されます。すべてのディスクを再生して止ります。(リレー再生)

ディスクの置きかた

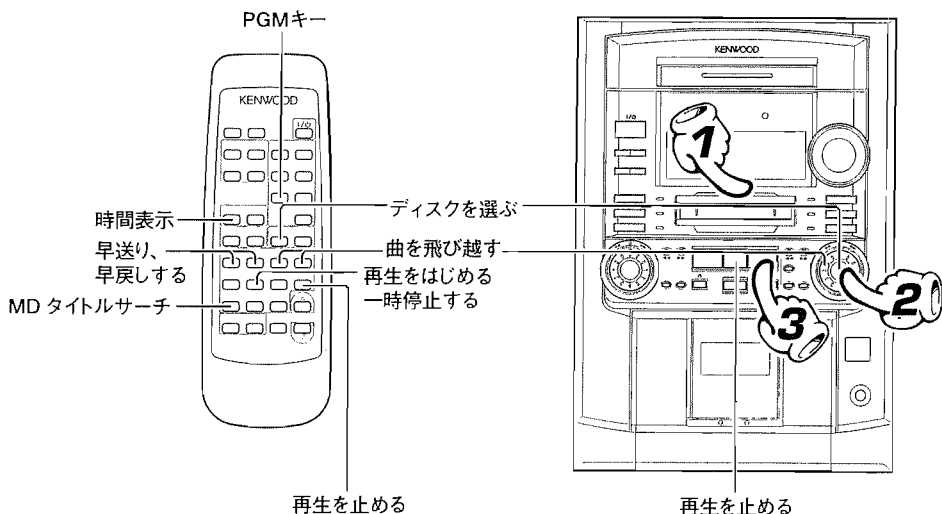
ディスクはトレイの溝に合わせて、正しく置いてください。(ディスクを斜めに置くと故障の原因となります。)

⚠ 注意 レーザー光源をのぞかない

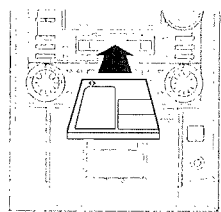
レーザー光が目にあたると、視力障害を起こすことがあります。



ミニディスクを、イジェクトしたまま、挿入口に放置しないでください。



基礎編



矢印の方向に入れる

ディスクを入れる:

▲キーを押した番号に入ります

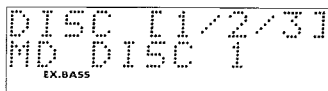
ディスクを取り出す:

▲キーを押した番号のディスクが戻ります

1. ミニディスクを入れる

ミニディスクを3枚収納できます。ミニディスクは、本機の挿入口に確実に差し込んでください。収納されたミニディスクはディスク表示灯で確認できます。

- 23 -

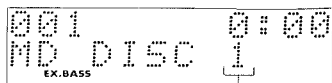


注意

ディスク表示灯が三つ同時に点滅している時は、ディスクを入れられないでください。無理に入れると故障の原因となります。イジェクトしたディスクは必ず抜き取ってください。

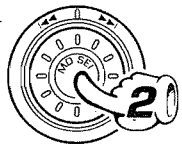
2. 再生するディスクを選ぶ

手順1.で複数のミニディスクが入っているときはMD SEL.キーを押して再生したいミニディスクを選びます。



選ばれているディスク番号

押す



早送り、早戻りする

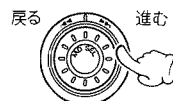
(本体) (正面右側)



- 再生中に押すと、手を離れたところから再生します。
- 再生中の早送り、早戻しは、音が出ます。
- 一時停止中の早送り、早戻しは高速となり、音は出ません。
- 一時停止中に早送りした場合、手を離れたところで一時停止になります。

曲を飛び越す

(本体)



(リモコン)



- マルチコントロールつまみを回す(リモコンの◀◀P.CALL▶▶キーを押す)と、選んだ曲の最初から再生します。
- 再生中にマルチコントロールつまみを左に回す(リモコンの◀◀キーを押す)と、その曲の最初に戻り、再生します。

再生を止める



好きな曲から聴く

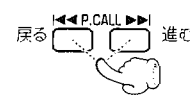
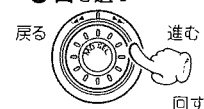
(本体)

(リモコン)

① ミニディスクを選ぶ



② 曲を選ぶ

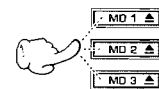


一時停止する



- 押すたびに、一時停止と再生が切り換わります。

ミニディスクを取り出す (本体のみ)



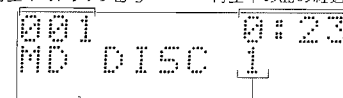
ミニディスク挿入口から必ず取り出してください。

3. 再生をはじめる

- 再生中は、各曲の最初にトラックタイトルを表示します。
- "PGM"表示が点灯しているときは、リモコンのPGMキーを押して消灯させてください。
- "READING"の点滅中にミニディスクにない曲を選ぶと、ミニディスクの最後の曲を再生します。

再生中のトラック番号

再生中の曲の経過時間



選ばれているディスク番号

ディスク表示灯について

ミニディスクの状況は、表示灯の点灯、点滅によって表します。

- ・早い点滅がしばらく続く MD 1 ▲ ディスクが取り出された。
 - ・遅い点滅 MD 2 ▲ ディスクが再生中です。
 - ・点灯 MD 3 ▲ ディスクが入っています。
- ミニディスクを挿入した時、つぎのミニディスクが収納される番号を早い点滅で表します。例(ミニディスクが1番に挿入されたとき2番の表示灯がしばらく早い点滅をします。)

基礎編

MDの聴きたい曲をタイトルで探す (MDタイトルサーチ)

録音用ミニディスクの場合、ミニディスクに収録されている曲のタイトルをあらかじめ入力しておく、聴きたい曲のタイトルで探すことができます。



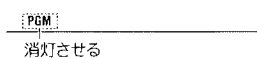
① 入力切り換えをMDにする



② 停止状態にする("PGM"表示を消灯させる)



● "PGM"表示が点灯しているときは、リモコンのPGMキーを押して消灯させてください。



消灯させる



③ MD1~MD3をMD SEL.キーを押して、選ぶ



④ T. SEARCHキーを押す



⑤ 聴きたい曲名(タイトル)を選ぶ

◀◀P.CALL▶▶キーを押して曲名を選ぶ

トラック番号が戻る トラック番号が進む



● タイトルの入力されていない曲は、トラック番号と"....."が表示されます。

⑥ 再生する



選んだ曲の再生が始まります

基礎編

MDレコーダーの時間表示について (リモコンのみ)

MDレコーダー部の時間表示を切り換えることができます。



- 1曲も録音されていない場合、"BLANK DISC"と表示されます。(ディスクタイトルがある場合、そのディスクタイトルが表示されます)。
- 再生専用MDでは、録音可能時間は表示できません。
- PROGRAMの停止中は、時間表示の切り換えはできません。

タイム ディスプレイ
TIME DISP. キーを押すたびに切り換わります。
再生中/停止中

| | | |
|-------------------|-----|----------|
| ① 曲の経過時間 | 001 | 0:30 |
| ② 曲の残り時間 | 001 | -3:24 |
| ③ ミニディスクの経過時間 | 001 | T 12:24 |
| ④ ミニディスクの残り時間 | 001 | T -53:24 |
| ⑤ ミニディスク全体の録音可能時間 | 001 | R 50:50 |

録音中

| | | |
|-------------------|-----|---------|
| ① 曲の経過時間 | 001 | 0:30 |
| ② ミニディスク全体の録音可能時間 | 001 | R 15:24 |

PROGRAMまたはRANDOM再生中

| | | |
|----------|-----|-------|
| ① 曲の経過時間 | 001 | 1:30 |
| ② 曲の残り時間 | 001 | -3:24 |

ドットディスプレイについて (リモコンのみ)

CD/MDの再生中にDOT DISP.キーを押すと、記録されている文字情報をドット表示部にスクロール表示します。

CDはテキスト対応されたディスクに限りです。

押すたびに切り換わります

| | |
|-------------|-------------|
| CD再生中 | MD再生中 |
| DISC No. | DISC No. |
| TRACK TITLE | TRACK TITLE |
| DISC TITLE | |

モノラル録音されたミニディスクについて

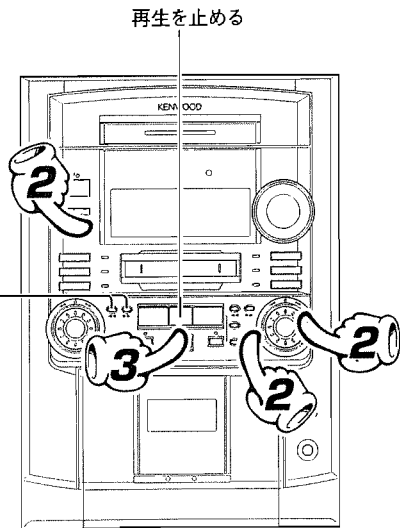
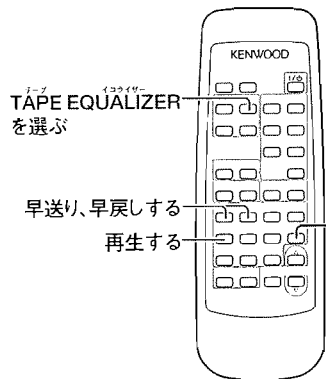
本機は、モノラルモードで録音されたミニディスクも再生できます。モノラルモードの場合、同じ記録時間の内容がステレオモード時の約半分のデータ量となるため、再生時間(記録時間)はステレオモード時の約2倍(最大148分)になります。

注意 レーザー光源をのぞかない
レーザー光が目当たると、視力障害を起こすことがあります。

基礎編

XT-3MD/XT-300MD (J)

カセットデッキにあらかじめテープを入れておくと、TAPEキーを押すだけで自動的に電源がオンになり、再生が始まります。



XT-3MD/XT-300MD (J)

早送り・早戻りする

(本体) ←方向に早送りする →方向に早戻りする



● 早送りを止めるときは、停止(■)キーを押してください。

TAPE EQUALIZERを選ぶ (リモコンのみ)

ドルビー録音されたテープを聴くときのみに使います。(ドルビー録音をしていないテープでは、正常に再生されません)



テープイコライザーがオンのとき点灯

押すたびに切り換わります。

- ① "T.E." 点灯: テープイコライザーを使う
- ② "T.E." 消灯: テープイコライザーを使わない

再生を止める

(本体)



● テープが完全に停止するまで、カセットテープを取り出さないでください。

テープのカウンター表示について(リモコンのみ)

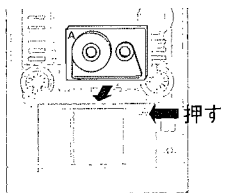
テープの再生中に、TIME DISP.キーを押すたびにディスプレイの表示が切り換わります。

- ① 2000 (テープカウンター)
- ② P11 3:00 (時刻表示)

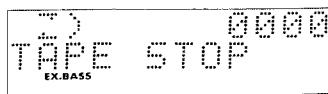


基礎編

1. カセットテープを入れる

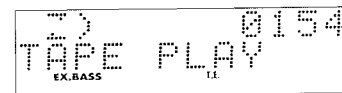


- ① ドアを開ける
- ② テープを入れ、ドアを閉める



- ノーマル(TYPE I)、ハイ(TYPE II)、メタル(TYPE IV)のテープ選択は、自動設定されます。
- テープは、たるみのない状態にしてください。

3. テープを再生する



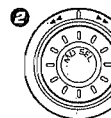
走行方向について

ワンタッチオペレーションなどで、再生や録音が自動スタートするとき、テープが進む方向を、インジケータの点灯で示します。最後にテープを止めたときの方向が記憶されます。

再生中に、TAPE (◀▶)キーを押すと再生方向を変えることができます。

2. テープの走行方向モードを選ぶ

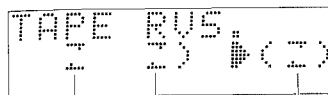
① SOUND MENU



③ SET/DEMO.

- ① MENUキーを押す
- ② マルチコントロールつまみを回して"TAPE RVS."を選ぶ
- ③ SET/DEMO.キーを押す
- ④ 再度マルチコントロールつまみを回して走行方向を選ぶ

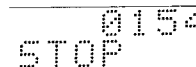
リバースモードの表示



- 一方方向のみ再生して停止する (ワンウェイ再生)
- 両面を繰り返し再生する (エンドレス再生)
- 両面を再生して停止する (両面リバース再生)

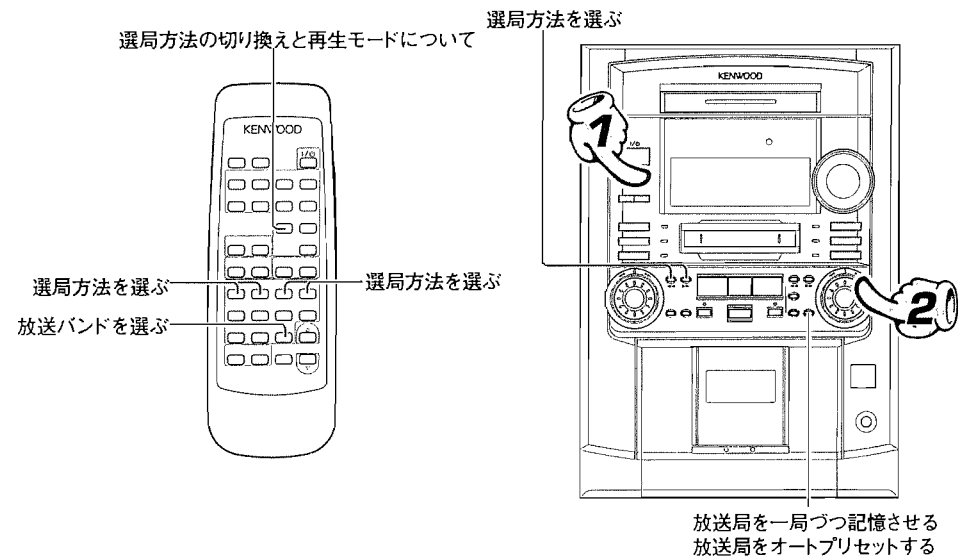
テープカウンターについて

カセットテープを入れると、テープカウンターが "0000" と表示されます。テープの途中で録音(再生)を終わりにしたいときなど、その数字をメモしておくと、次の録音(再生)のときに、続きの場所を探すめやすくなります。裏面を聴いているとき(走行方向表示が◀ のとき)はカウンターの数字は減っていきます。テープカウンターを "0000" にしたいときは、カセットホルダーを、いったん開けてください。カウンターがリセットされます。



基礎編

放送局を最大40局まで記憶させ、ワンタッチで受信できます。
TUNER/BANDキーを押すだけで自動的に電源がオンになり、受信状態になります。



基礎編

AUX TUNER/BAND



1. 放送バンドを選ぶ

押すたびに切り換わります。

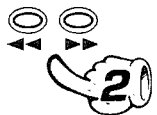
- ① "FM"
- ② "AM"

2. 選局方法を選ぶ

放送局を記憶させていない場合

オート選局のとき: ◀◀ または ▶▶ キーを押すたびに次の放送局を自動的に受信します。

マニュアル選局のとき: ◀◀ または ▶▶ キーを受信するまで繰り返し押す。または キーを押したままにする。



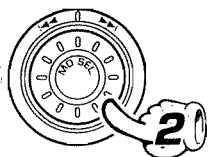
放送局を記憶させた場合(プリセットコール)

マルチコントロールつまみを回すと、記憶されている放送局が順に切り換わります。

右側に回すと... 1 → 2 → 3 38 → 39 → 40 → 1

左側に回すと... 40 → 39 → 38 3 → 2 → 1 → 40.....

● リモコンの ◀◀ または ▶▶ キーを押しても同様の操作ができます。



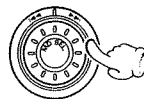
放送局を一局ずつ記憶させる (マニュアルプリセット)

① 受信中にENTERキーを押す

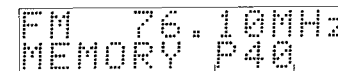
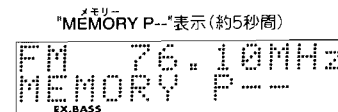


("MEMORY"表示中に手順②へ)

② マルチコントロールつまみを回して記憶させたいプリセット番号を表示させる



③ 5秒以内に再度ENTERキーを押して確定する



プリセット番号の表示

- 最大40局まで放送局を記憶できます。
- リモコンの ◀◀ または ▶▶ キーを押しても同様の操作ができます。

- プリセットを続けるときは、手順①～③を繰り返します。
- 同じ番号に重ねて記憶させると、新しい設定内容に変更されます。

チューナーの周波数表示について

(リモコンのみ)

放送の受信中に、TIME DISP.キーを押すたびにディスプレイの表示が切り換わります。

- ① FM 80.00MHz (周波数表示)
- ② P1 3:00 (時刻表示)



基礎編

選局方法の切り換えと受信モードについて

(リモコンのみ)

押すたびに切り換わります。

- ① "AUTO" 点灯 (オート選局、ステレオ受信)
- ② 消灯 (マニュアル選局、モノラル受信)

電波が弱く、雑音が多いときはマニュアル選局に設定してください。(マニュアル選局のとき、ステレオ放送はモノラル受信となります)

- 通常は"AUTO"(オート選局、ステレオ受信)にしておきます。

放送バンドの表示



オート選局時に表示 | ステレオ受信時に表示
受信すると"TUNED"が表示

テレビ放送(1ch~3ch)の受信について

周波数を次のように合わせます。

- 1chのとき 95.75MHz
- 2chのとき 101.75MHz
- 3chのとき 107.75MHz

- テレビ放送はモノラル受信になります。

放送局をオートプリセットする (エリア別FM放送局名自動表示)

お住まいの都道府県名を設定すると、お住まいの近くで受信出来る放送局が自動的にプリセット(記憶)されます。これらの放送局を受信すると、放送局名を(FM放送のみ)表示することが出来ます。

(放送局名リスト

-31)

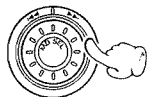
- ① 入力切り換えを"**TUNER**"にする



- ② **ENTER**キーを押す(2秒以上)



- ③ お住まいの都道府県名を選択する



- ④ オートプリセットをはじめる

自動的にFMに切り換わりエリア別受信モードに入ります

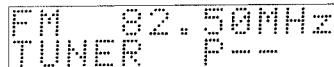


希望の放送局名が表示されないとき

放送地域によっては、周波数が同じでも放送局名が違う場合があります。希望する放送局名が表示されていないときは、SET/DEMO.キーを押すと放送局名を変えることができます。



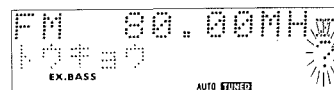
オートプリセットはFMおよびAMの放送局をあわせて、最大40局まで登録します。放送局名表示は放送局名リストに載っているFM放送局のみに対応しています。



東京でNHK-FM(82.5MHz)を受信しているとき

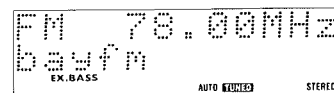
- 現在選択されている都道府県名が表示されます。
- 都道府県名を登録していない場合は、"ケンメイ ミセッテイ"と表示されます。

トウキョウを選択したとき



- 都道府県名は、アイウエオ順に並んでいます。
- 都道府県名を設定したときは、"放送局名リスト"に従ってオートプリセットされます。
- リスト以外の放送局は、マニュアルプリセットしてください。

- "AUTO PRESET"表示が点滅して順次FM局をメモリーして、次にAM局をメモリーします。



FM受信中は放送局名が表示されます

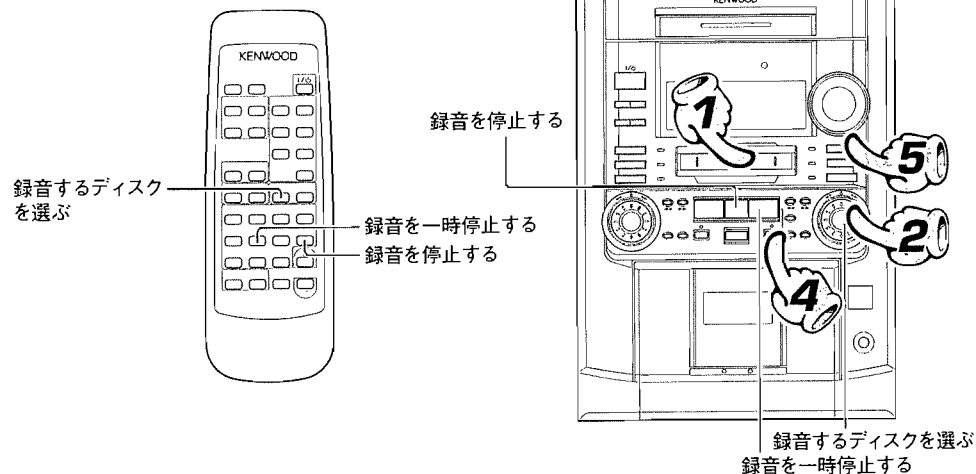
- 受信中の周波数の放送局名が登録されていない場合、および"TUNED"が点灯していない場合は、放送局名は表示しません。
- オートプリセットが終了と、一番最初にオートプリセットした放送局名が表示されます。受信中の周波数の放送局名が登録されていない場合は、"TUNER P - -"と表示します。

1998年8月現在

放送局名リスト

| | 放送局 | 表示名 |
|------------|--------------|--------------|
| 全国ネット | NHK - FM | NHK - FM |
| | エフエム北海道 | AIR - G' |
| 北海道地方 | エフエム・ノースウェーブ | north wave |
| | エフエム青森 | FMアオモリ |
| 東北地方 | エフエム岩手 | FMイワテ |
| | エフエム仙台 | FMセンダイ |
| | エフエム秋田 | Co - much FM |
| | エフエム山形 | FMヤマガタ |
| | エフエム福島 | フクシマFM |
| 関東地方 | エフエム東京 | TOKYO FM |
| | エフエムジャパン | J - WAVE |
| | エフエムインターウェーブ | InterFM |
| | 放送大学 | ホウソウダイガク |
| | エフエム群馬 | FMグンマ |
| | エフエム栃木 | RADIO BERRY |
| | エフエム埼玉 | NACK5 |
| エフエムサウンド千葉 | bayfm | |
| 中部地方 | エフエム宮崎 | Fm yokohama |
| | エフエム富士 | FM-FUJI |
| | エフエムラジオ新潟 | FMニイガタ |
| | 長野エフエム放送 | FMナガノ |
| | 北日本放送 | KNBラジオ |
| 中部地方 | 富山エフエム放送 | FMトヤマ |
| | エフエム石川 | FMイシカワ |
| | 福井エフエム放送 | FMフクイ |

| | 放送局 | 表示名 |
|----------|-------------|-------------|
| 中部地方 | 静岡エフエム放送 | K・MIX |
| | エフエム愛知 | FM AICHI |
| | エフエム名古屋 | ZIP - FM |
| 近畿地方 | 三重エフエム放送 | FMミエ |
| | エフエム京都 | アルファStation |
| | エフエム滋賀 | E - Radio |
| | エフエム大阪 | fm osaka |
| | エフエムはちまるに | FM802 |
| 中国・四国地方 | 関西インターメディア | FM CO・CO・LO |
| | 兵庫エフエムラジオ放送 | Kiss - FM |
| | エフエム山陰 | V - air |
| 九州・沖縄地方 | 広島エフエム放送 | ヒロシマFM |
| | エフエム山口 | FMヤマグチ |
| | エフエム徳島 | FMトクシマ |
| | エフエム香川 | FMカガワ |
| | エフエム愛媛 | FMエヒメ |
| | エフエム高知 | FMコウチ |
| | エフエム福岡 | FM FUKUOKA |
| エフエム九州 | CROSS FM | |
| エフエム佐賀 | FMサガ | |
| エフエム長崎 | FMナガサキ | |
| エフエム中九州 | FMK | |
| エフエム大分 | FM OITA | |
| エフエム宮崎 | JOY - FM | |
| エフエム鹿児島 | ミュ- FM | |
| エフエム沖縄 | FM Okinawa | |
| NHK 第一放送 | NHKラジオ1 | |
| FEN オキナワ | FEN オキナワ | |
| 九州国際エフエム | Love FM | |



録音を一時停止する

(本体)



- 再び録音を始めるには、再度MD(▶/||)キーを押します。このとき、トラック番号は"1"繰り上がります。

録音を停止する

(本体)



ディスプレイのメッセージについて

ディスプレイに下記の文字が表示されたとき、録音はできません。

"DISC FULL" ^{ディスクフル} : ミニディスクが一杯になっている。

→ 不要な曲を消す。 - [58] ~ - [61]

"PROTECTED" ^{プロテクト} : 誤消去防止つまみが開いている。

→ 閉める。 - [77] - [82]

"PLAY ONLY" ^{プレイ オンリー} : 再生専用ミニディスクである。

→ 録音用ミニディスクを入れる。

録音時のトラックナンバーについて

CDからの録音では、曲の切り換わりに合わせてトラック番号が繰り上がります。

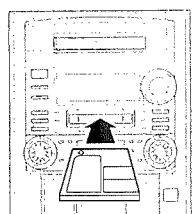
AUXからの録音のとき、音のない部分が2秒以上続いた後、次の音が入ってくると、トラック番号を自動的に"1"繰り上げます。(テープとチューナーの場合は、トラック番号は繰り上げません。) また、クラシック音楽などで小さい音が続いたとき、トラック番号が"1"繰り上がる場合があります。付いてしまったトラック番号は、あとで削除できます。

もし、録音の途中でトラック番号を繰り上げたいときは、録音中にリモコンのTRACK EDITキーを押すと、その位置にトラック番号を付けることができます。

トラック番号は再生時、曲の頭出しやプログラムのときなどに使用します。

録音中に押す

TRACK EDIT



矢印の方向に入れる

セクターをMDにする



(すでにミニディスクが入っている場合は、停止■キーを押して停止状態にしてください。)

1. 録音の準備をする

ミニディスクを3枚収納できます。収納されたミニディスクはMDディスク表示灯で確認することができます。 - [23]

ミニディスクは、本機の挿入部に確実に差し込んでください。

⚠ 注意

スタンバイ状態時は、ミニディスクの出し入れはできません。スタンバイ状態時に無理にミニディスクを入れないでください。故障の原因となります。ディスク表示灯が3つ同時に点滅しているときは、ディスクを入れないでください。

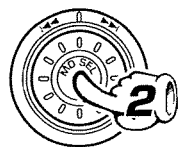
2. 録音するディスクを選ぶ

- ① 手順1.で、複数のミニディスクが入っている場合は、MD SEL.で録音したいミニディスクを選ぶ

R 20:00

- ② 録音可能時間を確かめる - [25]

録音可能な残り時間の表示
(REMAIN表示のとき)



(例) CDを選んだ場合



3. 録音したい音楽ソースを選ぶ

TUNER ^{チューナー} : アナログ録音のみ
CD : デジタル録音のみ
AUX ^{アンプ} : アナログ録音のみ
TAPE ^{テープ} : アナログ録音のみ

- すでにCDが入っているときは、再生が始まりますので一度停止(■)キーを押して停止状態にしてください。

4. 録音をはじめる

- ① MD RECキーを押す (録音一時停止状態になります)
- ② 準備ができていれば、もう一度MD RECキーを押す
- ③ 録音する音楽ソースを再生する

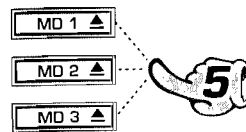
- CDの再生と同時に録音を始めることができます。"CDからMDまたはテープに録音するときのポイント"をお読みください。 - [25]
- 録音の一時停止状態から開始状態に移るには本体またはリモコンのMD▶/||キーでも同様に行うことができます。



録音中のディスクの表示が点滅します

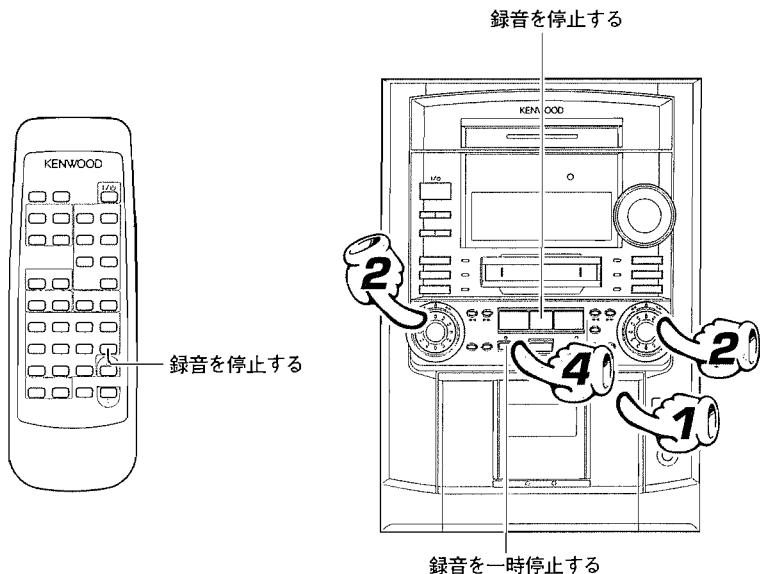
5. 録音終了後、ミニディスクを取り出す

録音が終わったら、必ずミニディスクを取り出してください。

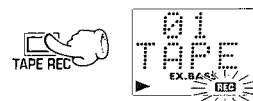


"WRITING"表示は、情報をミニディスクに書き込み中のため、振動や衝撃を加えないでください。

本機はメタルテープでの録音はできませんのでご注意ください。



録音を一時停止する



- 録音中に再度、TAPE RECキーを押すと、4秒間の無録音部分を作り、一時停止します。(もう一度押すと録音を再開します)

録音を停止する

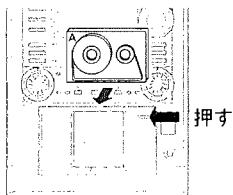


CDからMDまたはテープに録音するときのポイント

CDを録音するとき、MDレコーダーまたはカセットデッキを録音ポーズ状態にしておくと、音楽ソースの再生とカセットデッキの録音を同時に始めることができます(シンクロ録音機能)。

- 再生するCDを一時停止にする
 - 録音したい曲をスキップキー(◀▶)で選ぶ(選んだ曲の初めで一時停止になります。)
 - テープに録音する場合:
TAPE RECキーを2回押して、カセットデッキを録音ポーズ状態にする
MDに録音する場合:
MD RECキーを1回押して、MDレコーダーを録音ポーズ状態にする
 - CDの再生を始める
(録音中のCDとテープの走行表示が点滅し、シンクロ録音がスタートします。)
- 停止(■)キーを押すと、録音を中止します。
 - MDからも同様の手順でシンクロ録音できます。

1. カセットテープを入れる

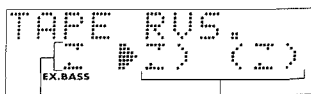


- ① ドアを開ける
- ② テープを入れ、ドアを閉める

- 110分以上のテープは、本体内部に巻き込まれることがありますので使用しないでください。
- ノーマル(TYPE I)、ハイ(TYPE II)のテープの種別は、自動設定されます。
- テープは、たるみのない状態で入れてください。

2. テープの走行方向モードを選ぶ

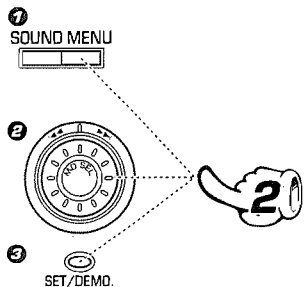
- ① MENUキーを押す
- ② マルチコントロールつまみを回して"TAPE RVS."を選ぶ
- ③ SET/DEMO.キーを押す
- ④ 再度マルチコントロールつまみを回して走行方向を選ぶ



片面のみ録音して停止します 両面録音して停止します

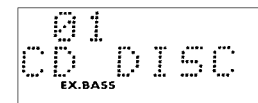
走行方向を逆にしたい場合

- ① 再生(◀▶)キーを押す
 - ② もう一度、再生(◀▶)キーを押す
 - ③ 停止(■)キーを押す
- 録音を始めたとき、この手順で選んだ方向にテープが進みます。
 - テープの頭出し(録音を始める位置)がずらすこと(を)しておきます。



3. 録音したい音楽ソースを選ぶ

TUNER (放送)
CD
MD
AUX



文字情報表示部に録音する入力ソースが表示されます



(例)CDを選んだ場合

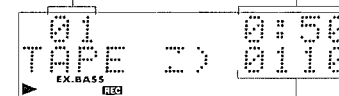
- すでにCDやMDが入っているときは、再生が始まりますので一度停止(■)キーを押して停止状態にしてください。
- CDまたは、MDが複数入っているときは、CD SEL., MD SEL.キーを押して再生したいディスクを選んでください。

4. 録音をはじめ

- ① TAPE RECキーを押す
- ② 録音する音楽ソースを再生する



再生中のトラック番号 再生中の曲の経過時間





テープカウンター表示

- 録音する面(片面または両面)が終了すると、自動的に停止します。

曲順を並べ換えて聴く (プログラム再生)

CDとMDを混ぜた再生、編集はできません。
複数のディスクの中から好きな曲を、好きな曲順で聴くことができます。(最大32曲)

 : CDプレーヤー再生時の表示内容を示します。

 : MDレコーダー再生時の表示内容を示します。

1 入力切り換えをCDまたはMDにして、停止状態を確認する

- 再生中の時は、停止(■)キーを押して、停止状態にしてください。

2 リモコンのプログラムPGMキーを押して、"PGM"表示を点灯させる

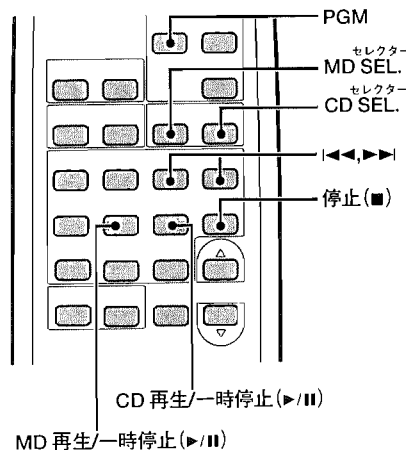
3 CD SEL.キーまたはMD SEL.キーでディスクを選ぶ

- 本体のCD SEL., MD SEL.キーでも同様の選択ができます。
- 8秒以内に次の手順に進んでください。

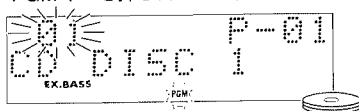
4 リモコンの<<<、>>>キーで聴きたい曲を選ぶ

- 本体のマルチコントロールつまみでも同様の選択ができます。
- 8秒以内に次の手順に進んでください。

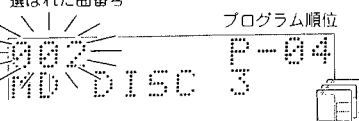
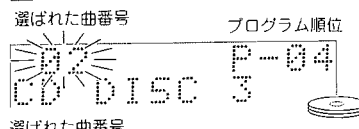
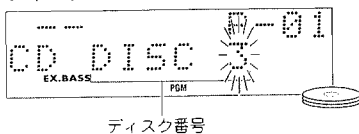
5 PGMキーを押して、選んだ曲を確定する



PGMキーを押したときの表示例



ディスクを選んだ後の表示例



6 手順3、4、5を繰り返してプログラムしていく

- 32曲まで選べます。"FULL"と表示されると、それ以上プログラムは受け付けません。

7 CD▶/|| キーまたはMD▶/||キーを押して、選んだ曲を再生する

- 選んだ順(P-番号順)に再生します。
- 再生中にリモコンの<<<または>>>キーを押すと、前後のプログラム曲へ飛び越します。
- 再生中に<<<キーを1回押すと、その曲の最初に戻ります。
- REPEATキーを押すと、プログラム再生が繰り返されます。

プログラムした曲の内容を確認するには (MDは停止中のみ)

設定終了後CHECKキーを押すたびに1曲目から順にプログラムされた曲を表示します。

プログラムした曲を取り消すには

後ろの曲からの取り消し (停止中)

CLEARキーを押して最後の曲から1曲ずつ取り消します。

全ての曲の取り消し


PGMキーを押すと全ての曲を取り消すことができます。

セクターがMDの場合(停止中)

- "PGM"表示が消灯します。

セクターがCDの場合(停止中/再生中)

- "PGM"表示が消灯し、通常の再生になります。

 本機でのCDとMDの混在のプログラムはできません。

▶/||キーを押したときの表示例



曲を追加するには (停止中のみ)

- 1 CD SEL.キーまたはMD SEL.キーでディスクを選ぶ
 - 2 8秒以内に<<<、>>>キーで曲を選ぶ
 - 3 8秒以内にプログラムPGMキーを押して、選んだ曲を確定する
- 追加したい曲番号を選ぶとプログラムの最後に追加されます。

後ろの曲からの取り消し (停止中)

CLEARキーを押して最後の曲から1曲ずつ取り消します。

全ての曲の取り消し


PGMキーを押すと全ての曲を取り消すことができます。

セクターがMDの場合(停止中)

- "PGM"表示が消灯します。

セクターがCDの場合(停止中/再生中)

- "PGM"表示が消灯し、通常の再生になります。


 本機でのCDとMDの混在のプログラムはできません。


繰り返し聴く (リピート再生)

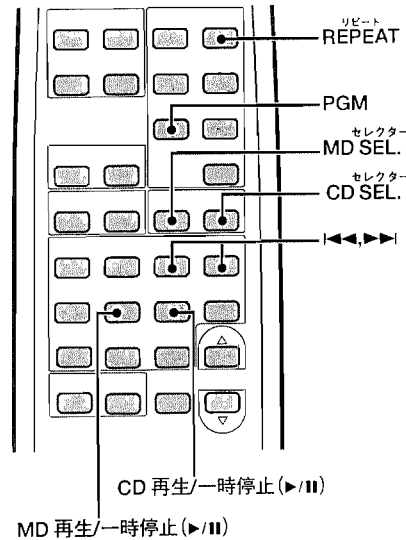
お気に入りの曲やディスクを繰り返し聴くことができます。"好きな1曲"、"好きな1枚"、"全てのディスク"の3種類のリピートモードがあります。

リピート
REPEATキーを押すたびに切り換わります。

- ①"REPEAT OFF":
通常の再生に戻ります
- ②"REPEAT ONE":
1曲を繰り返し再生する
- ③"REPEAT DISC":
1枚のディスクを繰り返し再生する
- ④"REPEAT ALL":
全てのディスクを繰り返し再生する

 : CDプレーヤー再生時の表示内容を示します。

 : MDレコーダー再生時の表示内容を示します。



一曲を繰り返し聴く

- 1 CD SEL.キーまたはMD SEL.キーでディスクを選ぶ

- 本体のCD SEL., MD SEL.キーでも同様の選択ができます。

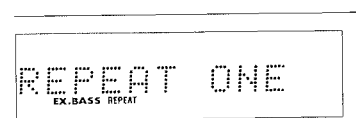
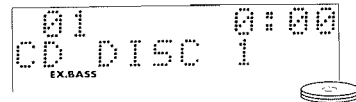
- 2 "PGM"表示の消灯を確認する

- "PGM"表示が点灯している場合はリモコンのPGMキーを押して通常再生状態に戻す。

- 3 リピートキーを押して、"REPEAT ONE"を表示させる

- 4 ◀▶キーで曲を選ぶ

- 数秒後に自動的に再生が始まります。



繰り返し再生をやめるには

リピート
REPEATキーを"REPEAT OFF"表示になるまで数回押す

- "REPEAT"表示が消灯し、リピート再生前のモードに従った再生に戻ります。

一枚のディスクを繰り返し聴く

- 1 CD SEL.キーまたはMD SEL.キーでディスクを選ぶ

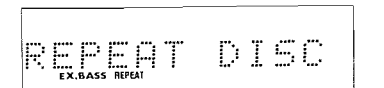
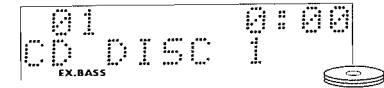
- 本体のCD SEL., MD SEL.つまみでも同様の選択ができます。

- 2 "PGM"表示の消灯を確認する

- "PGM"表示が点灯している場合はリモコンのPGMキーを押して通常再生状態に戻す。

- 3 リピートキーを押して、"REPEAT DISC"を表示させる

- 4 再生/一時停止(▶/||)キーを押して、再生する



繰り返し再生をやめるには

リピート
REPEATキーを"REPEAT OFF"表示になるまで数回押す

- "REPEAT"表示が消灯し、リピート再生前の再生モードに戻ります。

全てのディスクを繰り返し聴く

- 1 CD SEL.キーまたはMD SEL.キーで最初に再生を始めたいディスクを選ぶ

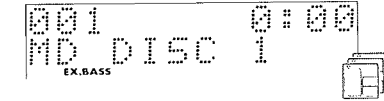
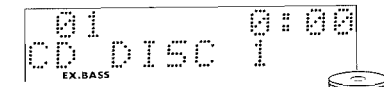
- 本体のCD SEL., MD SEL.つまみでも同様の選択ができます。

- 2 "PGM"表示の消灯を確認する

- "PGM"表示が点灯している場合はリモコンのPGMキーを押して通常再生状態に戻す。

- 3 リピートキーを押して、"REPEAT ALL"を表示させる

- 4 再生/一時停止(▶/||)キーを押して、再生する



繰り返し再生をやめるには

リピート
REPEATキーを"REPEAT OFF"表示になるまで数回押す

- "REPEAT"表示が消灯し、リピート再生前のモードに従った再生に戻ります。


ランダム再生を楽しむ


CDとMDを混ぜた再生、編集はできません。毎回曲がランダム(無作為)に選択されるので、飽きることなく楽しめます。

1枚のディスクをランダム再生する"RANDOM DISC"モードと収納されている複数のディスクをランダム再生する"RANDOM ALL"モードのいずれかを選ぶことができます。

RANDOMキーを押すたびに切り換わります。

- ① "RANDOM OFF":
通常の再生に戻ります
- ② "RANDOM DISC":
1枚のディスクをランダム再生する
- ③ "RANDOM ALL":
全てのディスクをランダム再生する

 : CDプレーヤー再生時の表示内容を示します。

 : MDレコーダー再生時の表示内容を示します。

一枚のディスクをランダム再生する

- 1 **CD SEL.**キーまたは**MD SEL.**キーでディスクを選ぶ

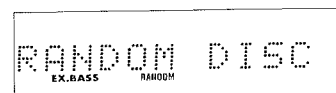
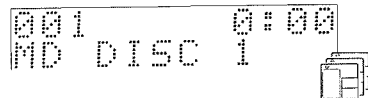
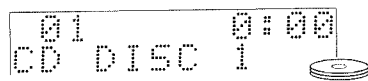
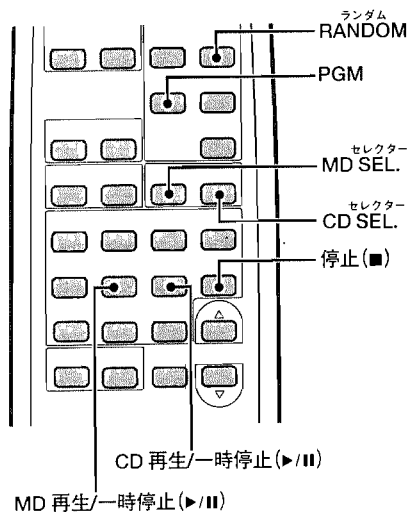
- 本体のCD SEL.、MD SEL.つまみでも同様の選択ができます。

- 2 "PGM"表示の消灯を確認する

- "PGM"表示が点灯している場合はリモコンのPGMキーを押して通常再生状態に戻す。

- 3 リモコンの**RANDOM**キーを押して、"**RANDOM DISC**"を表示させる

- 数秒後に自動的に再生が始まります。
- 全曲の再生が1回終わると停止します。
- REPEATキーを押して、"REPEAT ON"を選ぶと、ランダム再生が繰り返されます。



CDまたはMDの全てのディスクをランダム再生する

- 1 "PGM"表示の消灯を確認する

- "PGM"表示が点灯している場合はリモコンのPGMキーを押して通常再生状態に戻す。



- 2 リモコンの**RANDOM**キーを押して、"**RANDOM ALL**"を表示させる

- 数秒後に自動的に再生が始まります。
- すべてのディスクの全曲の再生が1回終わると停止します。
- REPEATキーを押して、"REPEAT ON"を選ぶと、ランダム再生が繰り返されます。



曲の途中で次の曲に移るには

▶▶キーを押す

- ◀◀キーを1回押すと、再生している曲の初めに戻ります。

ランダム再生をやめるには

RANDOMキーを"RANDOM OFF"表示になるまで数回押す

セレクターがMDの場合

- "RANDOM"表示が点灯し、停止します。

セレクターがCDの場合

- "RANDOM"表示が点灯し、再生状態になります。

録音のタイプを選ぶ

本機では、通常の録音の他に次のような録音機能があります。



ミニディスクに録音した後は必ずディスクを取り出してください。

XT-3MD/XT-300MD (J)

CDを、MDとテープに同時録音したい時は

MDとテープに同時録音 (CD TWIN REC) (CD→MD、TAPE) - [43]

TWIN REC (全曲同時録音)



1枚のCDの全曲を、MDとテープに同時に録音できます。

TWIN REC (一曲同時録音)



その時に聴いているCDの曲だけを、MDとテープに同時に録音できます。
(初めて聴くディスクから、気に入った曲だけを選んで録音するときに便利です。)

CDの録音を簡単にしたい時は

MDからテープへのワンタッチエディット録音はできません。

ワンタッチエディット録音 (CD→MD、CD→TAPE) - [44] - [45]

ワンタッチエディット録音 (全曲録音)



CDの全曲を、MDまたはテープのいずれかに、ワンタッチエディット録音ができます。

ワンタッチエディット録音 (一曲録音)



その時に聴いているCDの曲だけを、MDまたはテープのいずれかに、ワンタッチエディット録音ができます。
(初めて聴くディスクから、気に入った曲だけを選んで録音するときに便利です。)

曲を選び曲順を並びかえて録音をしたい時は

プログラム録音 (CD→MD、CD→TAPE) - [46] - [47]

プログラム録音



プログラムした曲順で録音します。
(CDの曲を、好きな曲順にプログラムして録音するときに便利です。)
"ワンタッチエディット録音"または、"MDとテープに同時録音 (CD TWIN REC)"と組み合わせると録音もできます。

好きなCDの一曲目だけを再生、録音したい時は

ベストヒットプログラム編集 (BEST HITS) - [48]

ベストヒットプログラム編集



プログラムされた曲順で再生、録音します。
(CDの一曲目のみプログラムします。再生中に他のCDの取り替えができ、好きな曲の再生、録音するときに便利です。)



1. 本機ではメタルテープでの録音はできませんのでご注意ください。
2. テープに録音する場合、テープの折り返し部分では、ガイドテープのふんだけ曲が録音されません。曲が途切れないように録音したいときは、片面録音をご利用ください。

CDからMDとTAPEへ同時に録音する
(CD TWIN REC)

1枚のCDを録音する

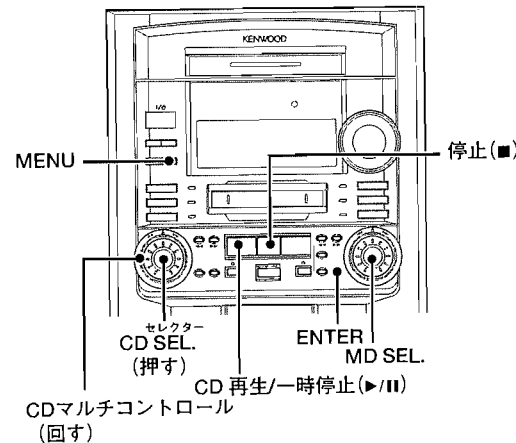
(ツイン・エディット全曲録音)

1枚のCD全曲を、MDとTAPEに同時に録音できます。

いい曲があれば、その曲だけ録音する

(ツイン・エディット1曲録音)

CDを聴いているとき、今聴いている曲をMDとTAPEに同時に録音できます。



1枚のCDを録音する

(ツイン・エディット全曲録音)

1 本機に、録音可能なミニディスクを入れる - [22] - [27]

● MD SELキーで録音したいMDを選んでください。

2 トレイ1～3のうちいずれかに、録音したいCDを入れる

● 複数のディスクが収納されている場合は、本体または、リモコンのCD SEL.キーで録音したいCDを選んでください。

3 TAPEを入れて録音可能な状態で停止させる - [34]

4 MENUキーを押し、CDマルチコントロールつまみで"CD TWIN REC"を選びENTERキーを押して録音を始める

いい曲があれば、その曲だけ録音する
(ツイン・エディット1曲録音)

1 本機に、録音可能なミニディスクを入れる - [22] - [27]

● MD SELキーで録音したいMDを選んでください。

2 トレイ1～3のうちいずれかに、録音したいCDを入れる

● 複数のディスクが収納されている場合は、本体または、リモコンのCD SEL.キーで録音したいCDを選んでください。

3 TAPEを入れて録音可能な状態で停止させる - [34]

4 CDを再生する - [20]

5 MENUキーを押し、CDマルチコントロールつまみで"CD TWIN REC"を選びENTERキーを押して録音を始める

● 再生中の曲の最初に戻り、録音が始まります。

録音を途中でやめるには

本体またはリモコンの停止(■)キーを押す

● 録音、再生ともに停止します。



● ミニディスクに録音した後は必ずディスクを取り出してください。
● "WRITING"表示中は、情報をミニディスクに書き込み中のため、振動や衝撃を加えないでください。

CDの全曲、1曲をワンタッチで録音する

(ワンタッチエディット録音)

CDからテープまたはMDに録音します。CDからMDに録音の場合、CD1～3までのディスクをMD1～MD3のディスクごとに順に録音します。

1枚のCD全曲をTAPEへワンタッチで録音する

録音の準備をする

"テープに録音する"(手順 1, 2を行う) - [34]

- 1 CD ▶/|| キーを押して、セクターをCDに換える

●あらかじめディスクが入っていると再生が始まりますので、停止(■)キーで再生を止める。

- 2 CDプレーヤーにディスクを入れる

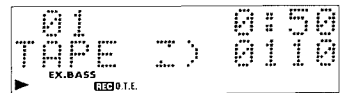
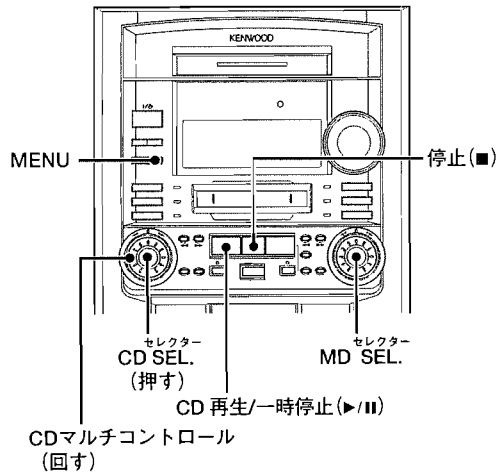
- 3 ^{セクター}CD SEL. キーで録音したいディスクを選ぶ

- 4 リモコンの ^{テープ}TAPE O.T.E. キーを押すとCDの再生が始まり、同時に録音を始める

1曲をTAPEへワンタッチで録音する

CDの再生中に TAPE O.T.E. キーを押す

- 再生中の曲の最初に戻り、録音が始まります。
- 再生中の1曲のみ録音されます。
- 録音が終了したらカセットデッキは、約4秒の無録音部分を作って停止状態になります。



- テープに録音する場合、テープの折り返し部分では、ガイドテープのぶんだけ曲が録音されません。

録音を途中でやめるには

本体またはリモコンの停止(■)キーを押す

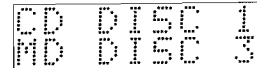
- 録音、再生ともに停止します。

1枚のCDの全曲をMDへワンタッチで録音する

- 1 本機に、録音可能なミニディスクを入れる - [22] - [27]

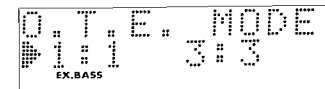
- 2 トレイ1～3のうちいずれかに、録音したいCDを入れる - [20]

- 3 ^{メニュー}MENUキーを押して^{セクター}CD SEL., ^{セクター}MD SEL. キーを押して録音したいCDと録音するMDを選ぶ

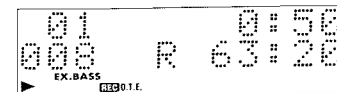


- 4 MENUキーを押し、マルチコントロールつまみで"O.T.E. MODE"を選び^{セット}SET/^{デモ}DEMO.キーを押す

- 5 マルチコントロールつまみで"1:1"を選び^{エンター}ENTERキーを押して確定する



- 6 リモコンのMD O.T.E.キーを押すとCDの再生が始まり、同時に録音を始める



再生中の曲をMDへワンタッチで録音する

CDの再生中にMD O.T.E.キーを押して録音を始める

- 再生中の曲の最初に戻り、録音が始まります。
- 再生中の1曲のみ録音されます。
- 録音が終了したらMDレコーダーも停止状態になります。

複数のCDの全曲をMDへワンタッチで録音する

- 1 本機に、録音可能なミニディスクを入れる - [22] - [27]

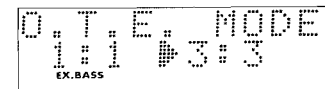
- 2 トレイ1～3に、録音したいCDを入れる - [20]

- 3 MENUキーを押してCD SEL., MD SEL. キーで録音したいCDと録音するMDを選ぶ

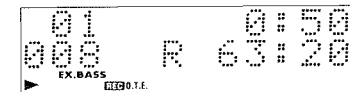
- CDは番号の小さいディスクを選んでください。例(トレイ1と3にディスクがある場合は"DISC 1"を選ぶ。)
- CD、MDが各々同じトレイ番号に入っているものを録音します。

- 4 MENUキーを押し、マルチコントロールつまみで"O.T.E. MODE"を選びSET/DEMO.キーを押す

- 5 マルチコントロールつまみで"3:3"を選びENTERキーを押して確定する



- 6 リモコンのMD O.T.E.キーを押すとCDの再生が始まり、同時に録音を始める



録音を途中でやめるには

本体またはリモコンの停止(■)キーを押す

- 録音、再生ともに停止します。

- ミニディスクに録音した後は必ずディスクを取り出してください。
- "WRITING"表示中は、情報をミニディスクに書き込み中のため、振動や衝撃を加えないでください。

曲順を並べかえて録音する (CD→MD) (プログラム録音)

3枚のディスクの中から曲順を並べかえてプログラムしたものを1枚のMDに収録することができます。

録音の準備をする

"MDに録音する"(手順 1, 2を行う) - 32

- 1** CD ▶/|| キーを押して、セレクトターをCDに換える

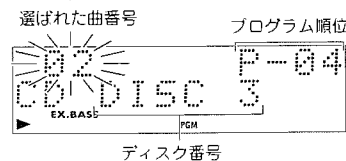
●あらかじめディスクが入っていると再生が始まりますので、停止(■)キーで再生を止める。

- 2** リモコンのPGMキーを押して、"PGM"表示を点灯させる

- 3** CD SEL.キーを押して、ディスクを選ぶ

- 4** CDマルチコントロールつまみで曲番号を選ぶ

- 5** 8秒以内にPGMキーを押して、選んだ曲番号を確定する

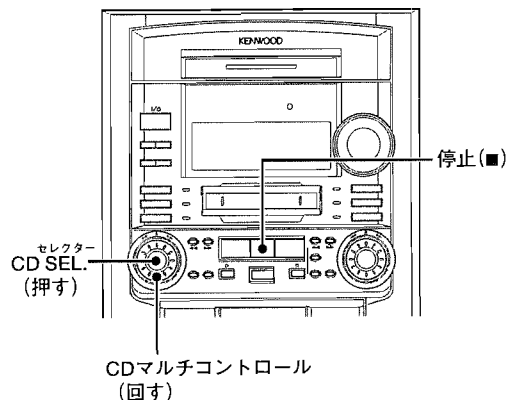


- 6** 手順 3、4、5を繰り返してプログラムしていく

- 使用するMDの録音時間を超えないように選んでください。
- 32曲まで選べます。"FULL"と表示されると、それ以上プログラムは受け付けません。
- 間違えたときは、CLEARキーを押してから、選び直してください。

- 7** リモコンのMD O.T.E. キーを押して、録音をスタートする

- CDがトレイ内で交換中は、MDの録音は一時停止しています。
- MDの収録時間を超えてプログラムされた曲は、途中で途切れますのでご注意ください。
- O.T.E. MODEではREPEAT再生はできません。



曲順を並べかえて録音する (CD→TAPE) (プログラム録音)

3枚のディスクの中から曲順を並べかえてプログラムしたものをテープに収録することができます。

録音の準備をする

"テープに録音する"(手順 1, 2を行う) - 34

- 1** CD ▶/|| キーを押して、セレクトターをCDに換える

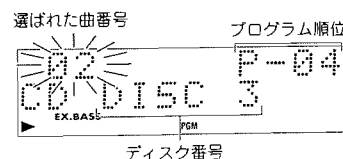
●あらかじめディスクが入っていると再生が始まりますので、停止(■)キーで再生を止める。

- 2** リモコンのPGMキーを押して、"PGM"表示を点灯させる

- 3** CD SEL.キーを押して、ディスクを選ぶ

- 4** CDマルチコントロールつまみで曲番号を選ぶ

- 5** 8秒以内にPGMキーを押して、選んだ曲番号を確定する



- 6** 手順 3、4、5を繰り返してプログラムしていく

- 使用するTAPEの録音時間を超えないように選んでください。
- 32曲まで選べます。"FULL"と表示されると、それ以上プログラムは受け付けません。
- 間違えたときは、リモコンのCLEARキーを押してから、選び直してください。

- 7** リモコンのTAPE O.T.E. キーを押して、録音をスタートする

●O.T.E. MODEではREPEAT再生はできません。

1. クラシックなど、1曲が長くてテープ片面に収まらない場合は、編集録音はできません。
2. テッキが片面録音にセットされている場合、テープ折り返し部の処理は、おもて面だけにになります。

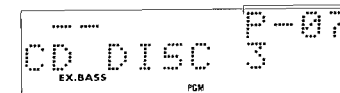
プログラムした曲を取り消すには

停止中に押す



CLEARキーを押したときの表示例

プログラム順位が下ります



- リモコンのCLEARキーを押すたびに、最後の曲から1曲ずつ消えていきます。

録音を途中でやめるには

本体またはリモコンの停止(■)キーを押す

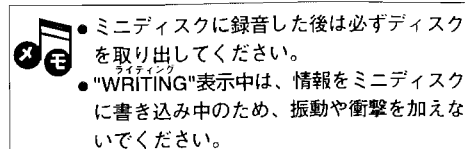
- 録音、再生ともに停止します。

プログラム録音を解除するには

停止中に押す



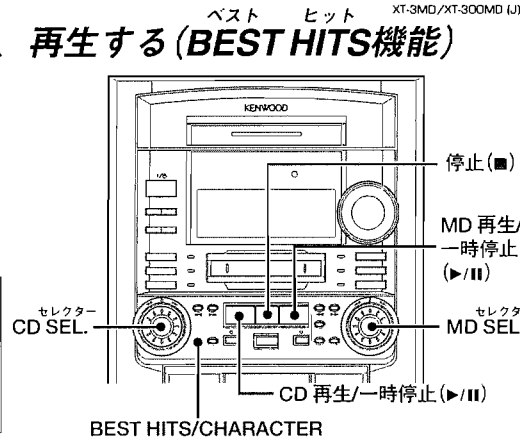
- CD1~CD3(▲)キーを押すと、取り出されたディスクのみプログラムから削除します。



複数のCDの1曲目だけを録音、再生する (BEST HITS機能)

セットされている全てのCDの1曲目を、トレイ1から順に再生、録音(MDまたはTAPEへ)します。シングルCDなどのヒット曲(1曲目)を録音する時に便利です。録音中でも、すでに録音が終わったCDの入れ換えができます。

- ミニディスクに録音した後は必ずディスクを取り出してください。
- "WRITING"表示中は、情報をミニディスクに書き込み中のため、振動や衝撃を加えないでください。



CDの1曲目だけをMDへ録音する

- 1 MD ▶/II キーを押して、セレクターをMDに換えて、録音可能なミニディスクをいれる - [22] - [77]
 - あらかじめディスクが入っていると再生が始まりますので、停止(■)キーで再生を止める。
- 2 MD SEL.キーでミニディスクを選ぶ
- 3 CD▶/II キーを押して、セレクターをCDに換える
 - あらかじめディスクが入っていると再生が始まりますので、停止(■)キーで再生を止める。
- 4 トレイに、録音したいCDを入れる - [20]

- 5 ベスト ヒット キャラクター BEST HITS/CHARACTERキーを押す
 - "PGM"表示が点灯します。
- 6 CDプレーヤーの停止中に MD O.T.E.キーを押して録音を始める

CDの1曲目だけを再生する

- 1 CDを入れ、CD▶/II キーを押して、セレクターをCDに換える
 - あらかじめディスクが入っていると再生が始まりますので、停止(■)キーで再生を止める。
- 2 ベスト ヒット キャラクター BEST HITS/CHARACTERキーを押す
 - "PGM"表示が点灯します。
- 3 CD▶/II キーを押して、CDの再生を始める

CDの1曲目だけをTAPEへ録音する

- 1 TAPEを録音可能な状態で停止させる - [34]
- 2 CD▶/II キーを押して、セレクターをCDに換える
 - あらかじめディスクが入っていると再生が始まりますので、停止(■)キーで再生を止める。
- 3 トレイに、録音したいCDを入れる - [20]
- 4 ベスト ヒット キャラクター BEST HITS/CHARACTERキーを押す
 - "PGM"表示が点灯します。

- 5 CDプレーヤーの停止中に TAPE O.T.E.キーを押して録音を始める
 - テープが終了すると、録音が終了します。

順にディスクを入れ換えていくと、中断することなく再生、録音を続けることができます

BEST HITSを解除するには

PGMキーを押すと通常の再生モードに戻ります。



録音・再生を途中でやめるには

- 本体またはリモコンの停止(■)キーを押す
- 録音、再生ともに停止します。

ミニディスク MDの編集機能

編集機能のタイプを選ぶ

市販の録音用ミニディスクを使うと、録音後に各種の編集を行うことができます。再生専用の一般市販ソフトのミニディスクは編集できません。

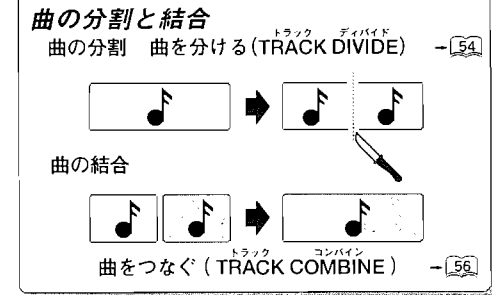
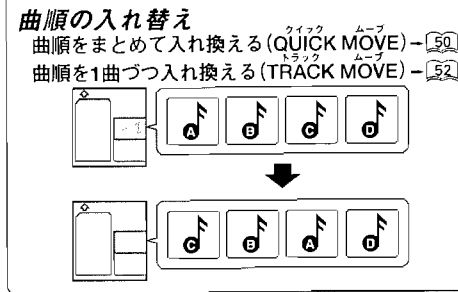
編集をするときは、ミニディスクの誤消去防止つまみを"録音可能"側にしてください。 - [77]

ミニディスクや曲にタイトルをつける (変更、消去する) - [63]

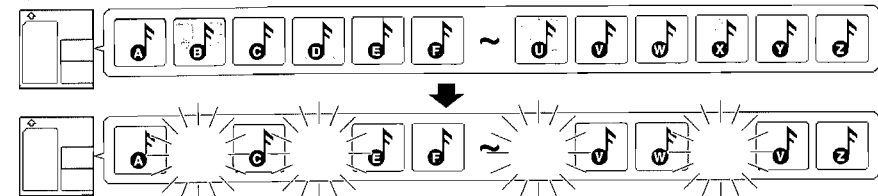
編集した内容を取り消す (EDIT CANCEL) - [67]

MD規格上の機能制限について
いくつかの機能には、MD規格上の制限があります。故障とお考えになる前に、ご確認くださいようお願いいたします。 - [80] - [81]

英数字に加えてカタカナなどの入力も可能です。ディスプレイに表示される文字の中から順に選んでいくだけの簡単な操作でタイトルを入力できます。入力したタイトルは、機種間の互換性がありますので、他のMDレコーダー(プレーヤー)にそのミニディスクをセットしたときも表示されます。(タイトルの互換性には、表示可能な文字種や文字数など、一部の規制があります)

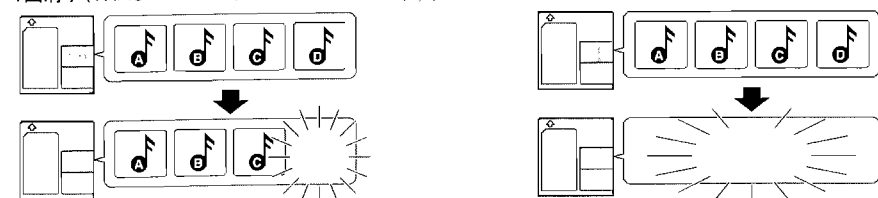


曲の消去



1曲消す (TRACK ERASE) - [69]

MD内の曲を全て消す (ALL ERASE) - [61]



曲順をまとめて入れ換える (QUICK MOVE)

並べたい順に曲(トラック番号)を選んで、まとめて曲順を入れ換えます。

1回の処理で入れ換えられるのは、32曲までです。

MD SEL. キーで編集したいミニディスクを選んでください。

1 MDレコーダーの停止中にリモコンの **TRACK EDIT** キーを押す

2 MDマルチコントロールつまみを回して、"**Q.MOVE**"を選ぶ

3 **SET/DEMO**.キーを押して、確定する
●途中で8秒以上放置すると、編集は中止されます。

4 MDマルチコントロールつまみを回して、移動したい曲(トラック番号)を選ぶ

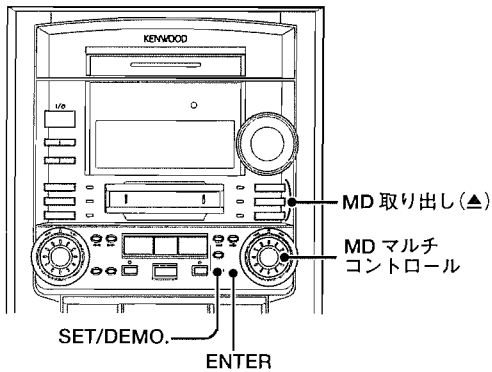
5 **SET/DEMO**.キーを押して、確定する

手順**2**~**5**を繰り返して、入れ替えたい順に曲を選びます。

6 **ENTER**キーを押して、移動したい曲を確定する

7 MDマルチコントロールつまみを回して、選んだ曲をどの曲(トラック番号)の間に移動するかを選ぶ

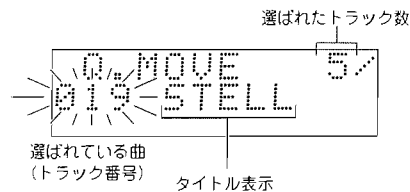
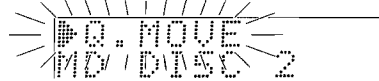
8 **SET/DEMO**.キーを押して、確定する



MD編集を途中で中止したいときは、もう一度 **TRACK EDIT** キーを押します。

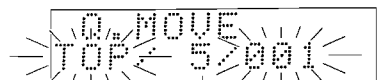
MDマルチコントロールつまみを回して、選びます

- ① "Q.MOVE" : 曲順をまとめて入れ換える
- ② "EDIT CANCEL" : 編集した内容を取り消す (各種の編集直後のみ)
- ③ "Q.ERASE" : 曲をまとめて消す



●選んだ曲順の確認や、選んだ曲の取消しができます。 -51

選んだ曲をミニディスクの1曲目の前に移動する場合の例

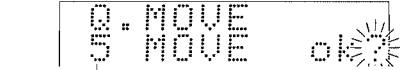


入れ換えるトラック数

9 "MOVE ok?"の表示を確認したら、**ENTER**キーを押して、曲の入れ替えを実行する

- リモコンの**ENTER**キーでも同様の操作ができます。
- 処理が終了するまで、少し時間がかかります。
- 並べ替えの途中で**TRACK EDIT**キーを押した場合、選ばなかった曲は、移動範囲の最後に、そのままの曲順で移動します。
- "**EDIT NOW**"表示中に**MD1**~**MD3**(▲)キーや、**ON/STANDBY**(I/O)キーを押すと、並べ替えが途中で中断されることがあります。

10 編集終了後、**MD1**~**MD3**(▲)キーを押してミニディスクを取り出す



入れ替えを指定した数



ミニディスクの編集終了後でも、現在までの編集を取り消し、ディスクを入れた状態まで戻すことができます。 -67

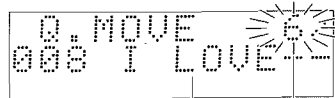
"**WRITING**"表示中は、情報をミニディスクに書き込み中のため、振動や衝撃を加えないでください。

選んだ曲を確認するには

手順**9**の終了後

- ① リモコンの**CHECK**キーを押す
- ② リモコンの**LEFT/RIGHT**キーを押して確認します
- ③ 再度**CHECK**キーを押すと元の状態に戻ります

6番目にトラック番号8の曲が予約されている場合



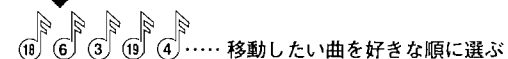
タイトル表示 選ばれている曲数の点滅中に確認する

選んだ曲を取消すには

手順**9**の終了後

- リモコンの**CLEAR**キーを押して、最後に選んだ曲番号(トラック番号)から順に取消します

曲順をまとめて入れ替えるイメージ



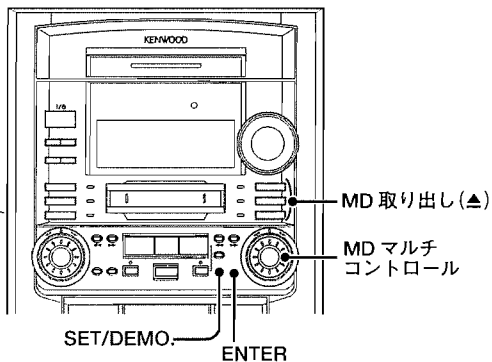
曲順の入れ替えを実行する (トラック番号が調整される)

曲順を1曲ずつ入れ換える (TRACK MOVE)

トラック ムーブ

再生中の曲を、目的のトラック番号の位置へ移動(挿入)します。前後の曲のトラック番号は、自動的に調整されます。

繰り返し行くと、目的の曲順に並べ換えることができます。



MD SEL.キーで編集したいミニディスクを選んでください。

1 移動したい曲の再生中または一時停止中にリモコンのTRACK EDITキーを押す

MD編集を途中で中止したいときは、もう一度TRACK EDITキーを押します。

2 MDマルチコントロールつまみを回して、"MOVE"を選ぶ

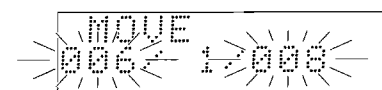
MDマルチコントロールつまみを回して、選びます

- ① "DIVIDE" : 曲を分ける
- ② "COMBINE" : 曲をつなぐ
- ③ "ERASE" : 1曲消す
- ④ "MOVE" : 曲順を1曲ずつ入れ替える



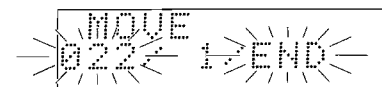
4 再度SET/DEMO.キーを押して、移動したい曲を確定する

手順⑦で7曲目の再生中(または一時停止中)にTRACK EDITキーを押した場合の例



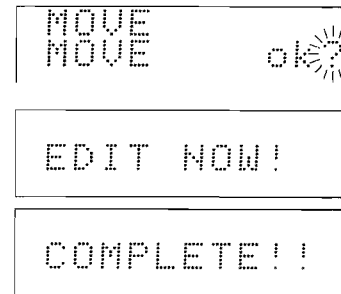
5 MDマルチコントロールつまみを回して、何曲目(トラック番号)に移動するかを選ぶ

選んだ曲をミニディスクの末尾に移動する場合(ミニディスクの22曲目と最後の間)の例



6 SET/DEMO.キーを押して、確定する

7 "MOVE ok?"の表示を確認したら、ENTERキーを押して、曲の入れ替えを実行する



- 処理が終了するまで、少し時間がかかります。
- "EDIT NOW"表示中にMD1~MD3(▲)キーや、ON/STANDBY(I/O)キーを押すと、並べ替えが途中で中断されることがあります。

8 編集終了後、MD1~MD3(▲)キーを押してミニディスクを取り出す



ミニディスクの編集終了後でも、現在までの編集を取り消し、ディスクを入れた状態に戻すことができます。 -62-



"WRITING"表示中は、情報をミニディスクに書き込み中のため、振動や衝撃を加えないでください。

曲順を1曲ずつ入れ替えるイメージ



曲を分ける (TRACK DIVIDE)

曲の途中にトラック番号(曲番号)を追加することにより、曲を分割します。特に聴きたいところにトラック番号を追加しておく、再生のときスキップができるので便利です。分割した曲より後ろでは、トラック番号が自動的に繰り上がります。プレビュー機能を使って、分割したいところを繰り返し聴きながら微調整ができます。

MD SEL. キーで編集したいミニディスクを選んでください。

1 分割したい曲を再生する

2 分割したいところまできたら、リモコンのTRACK EDITキーを押す

3 MDマルチコントロールつまみを回して、"DIVIDE"を選ぶ

4 SET/DEMO.キーを押して、確定する

- 途中で8秒以上放置すると、編集は中止されます。

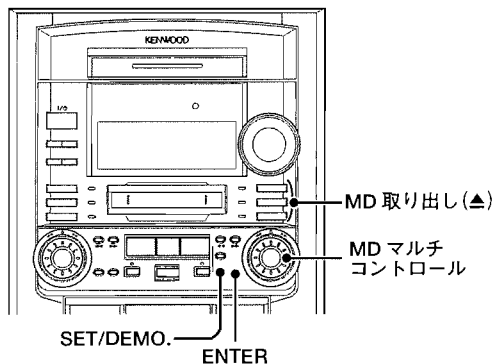
分割の微調整をしないときは、手順 4 の後に ENTER キーを押してから手順 5 へ進みます。("DIVIDE ok?"と表示されます。)

5 MDマルチコントロールつまみを回して、分割したいところを微調整する (プレビュー再生)

一時停止しているところから後の約3秒間を繰り返し再生します。

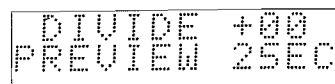
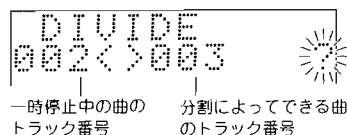
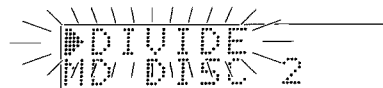
- 音を聴きながら、微調整することができます。
- 調整できる範囲は、手順 2 で TRACK EDIT キーを押して一時停止したところから、後に 32ステップです。(1ステップは約6/100秒)

6 SET/DEMO.キーを押して、確定する



MD編集を途中で中止したいときは、もう一度 TRACK EDITキーを押します。

- MDマルチコントロールつまみを回して、選びます
- | | |
|-------------|----------------|
| ① "DIVIDE" | : 曲を分ける |
| ② "COMBINE" | : 曲をつなぐ |
| ③ "ERASE" | : 1曲消す |
| ④ "MOVE" | : 曲順を1曲ずつ入れ替える |



7 "DIVIDE ok?"の表示を確認したら、ENTERキーを押して、曲の分割を実行する

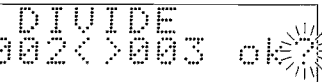
- 曲が2つに分けられます。
- 分けられた後半の曲の最初で再生一時停止になります。
- 分割で生まれた曲間には、無音部分がありません。
- 処理が終了するまで、少し時間がかかります。
- "EDIT NOW"表示中にMD1~MD3(▲)キーや、ON / STANDBY (I/O) キーを押すと、分割が途中で中断されることがあります。

手順 4 ~ 7 を繰り返して、最大255までトラック番号を追加できます。

8 編集終了後、MD1~MD3(▲)キーを押してミニディスクを取り出す



ミニディスクの編集終了後でも、現在までの編集を取り消し、ディスクを入れた状態に戻すことができます。 - 67



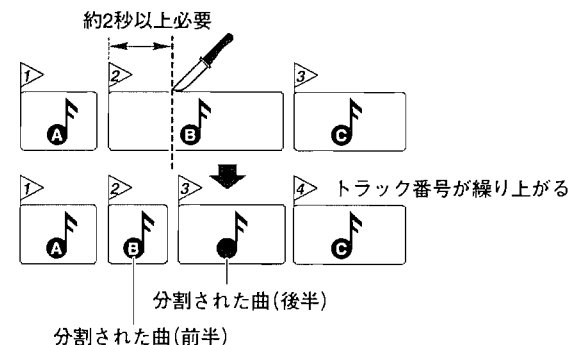
EDIT NOW!

COMPLETE!!

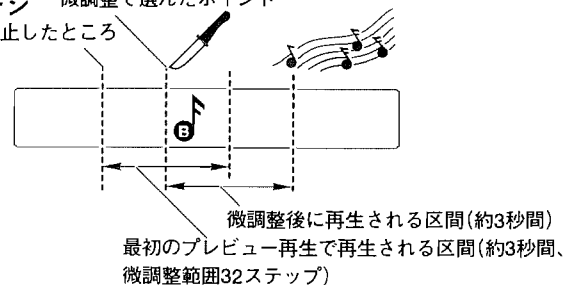


"WRITING"表示中は、情報をミニディスクに書き込み中のため、振動や衝撃を加えないでください。

曲を分割するイメージ



プレビュー再生のイメージ 微調整で選んだポイント 一時停止したところ



曲をつなぐ (TRACK COMBINE)

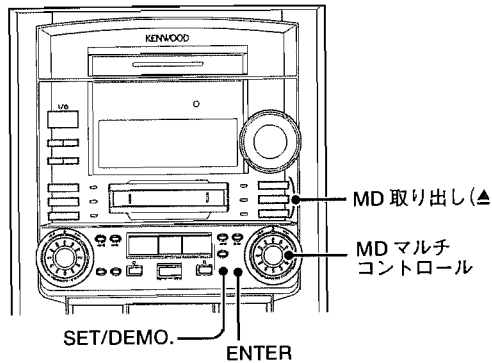
2つの曲をつないで1曲にします。いくつかの曲や、細かく分割されている曲をまとめることができます。コンバイン実行後は、トラック番号が自動的に調整されます。

MD SEL.キーで編集したいミニディスクを選んでください。

- 1 つないだときに前半にしたい曲を再生する
- 2 再生中に リモコンのTRACK EDITキーを押す
- 3 MDマルチコントロールつまみを回して、"COMBINE"を選ぶ
- 4 SET/DEMO.キーを押して、確定する
 - 途中で8秒以上放置すると、編集は中止されます。
- 5 MDマルチコントロールつまみを回して、つないだときに後半となる曲(トラック番号)を選ぶ
- 6 SET/DEMO.キーを押して、確定する

MDの編集機能

XT-3MD/XT-300MD [J]

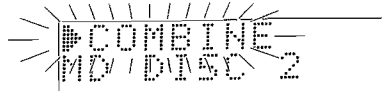


MD編集を途中で中止したいときは、もう一度TRACK EDITキーを押します。



MDマルチコントロールつまみを回して、選びます

- | | |
|-------------|----------------|
| ① "DIVIDE" | : 曲を分ける |
| ② "COMBINE" | : 曲をつなぐ |
| ③ "ERASE" | : 1曲消す |
| ④ "MOVE" | : 曲順を1曲ずつ入れ替える |

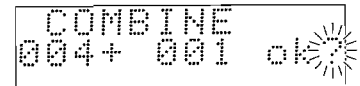


4曲目と1曲目をつなぐ場合の例



XT-3MD/XT-300MD [J]

- 7 "COMBINE ok?"の表示を確認したら、ENTERキーを押して、曲の結合を実行する
 - 結合された曲の最初で再生一時停止になります。
 - 処理が終了するまで、少し時間がかかります。
 - "EDIT NOW"表示中にMD1~MD3(▲)キーや、ON / STANDBY(I/O)キーを押すと、結合が途中で中断されることがあります。



EDIT NOW!

COMPLETE!!

- 8 編集終了後、MD1~MD3(▲)キーを押してミニディスクを取り出す



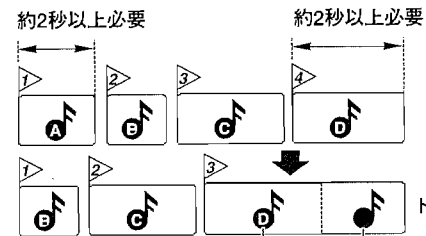
ミニディスクの編集終了後でも、現在までの編集を取り消し、ディスクを入れた状態まで戻すことができます。 [67]



"WRITING"表示中は、情報をミニディスクに書き込み中のため、振動や衝撃を加えないでください。

曲をつなぐイメージ

4曲目と1曲目をつなぐ場合



前半部のトラック番号と後半部のトラック番号とタイトルが残る
後半部のトラック番号とタイトルは消える



曲をまとめて消す (QUICK ERASE)

曲(トラック番号)を選んで、まとめて曲を消去することができます。消去すると元に戻せませんので、十分注意してください。

CHECKキーとCLEARキーを使って、選んだ曲順の確認や、選んだ曲の取消しができます。詳しくは、"選んだ曲を確認するには"、"選んだ曲を取消するには"を参照してください。

1回の処理で消去できるのは、32曲までです。

MD SEL. キーで編集したいミニディスクを選んでください。

1 MDレコーダーの停止中にリモコンのTRACK EDITキーを押す

2 MDマルチコントロールつまみを回して、"Q.ERASE"を選ぶ

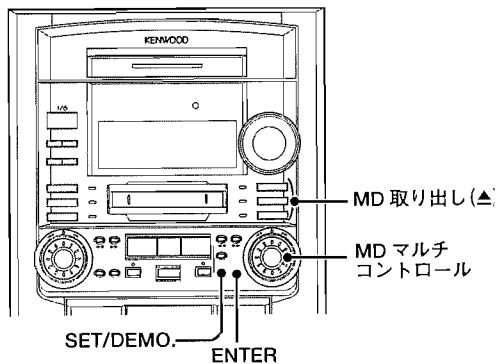
3 SET/DEMO.キーを押して、確定する
●途中で8秒以上放置すると、編集は中止されます。

4 MDマルチコントロールつまみを回して、消したい曲(トラック番号)を選ぶ

5 SET/DEMO.キーを押して、確定する
手順 ④~⑤を繰り返して、消したい曲を選びます。

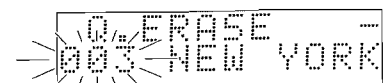
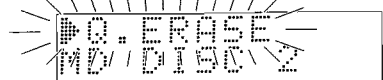
●全曲消したい場合("ALL ERASE"表示を選ぶ)は、"MD内の曲を全て消す"を参照してください。

6 ENTERキーを押して、消したい曲を確定する

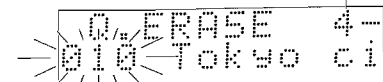


MD編集を途中で中止したいときは、もう一度TRACK EDITキーを押します。

- MDマルチコントロールつまみを回して、選びます
- ① "Q.MOVE" : 曲順をまとめて入れ替える
 - ② "EDIT CANCEL" : 編集した内容を取り消す (各種の編集直後のみ)
 - ③ "Q.ERASE" : 曲をまとめて消す

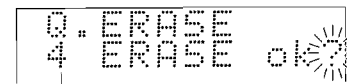


選ばれている曲(トラック番号)
消去するトラック数

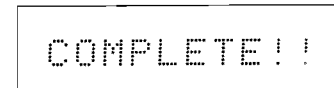
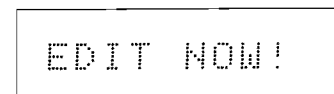


7 "ERASE ok?"の表示を確認したら、ENTERキーを押して、曲の消去を実行する

- 処理が終了するまで、少し時間がかかります。
- 消去の途中でTRACK EDITキーを押した場合、選ばなかった曲は、消す範囲の最後に、そのままの曲順で移動します。
- "COMPLETE"表示中にMD1~MD3(▲)キーや、ON / STANDBY(I/O)キーを押すと、消去が途中で中断されることがあります。



消去するトラック数



8 編集終了後、MD1~MD3(▲)キーを押してミニディスクを取り出す

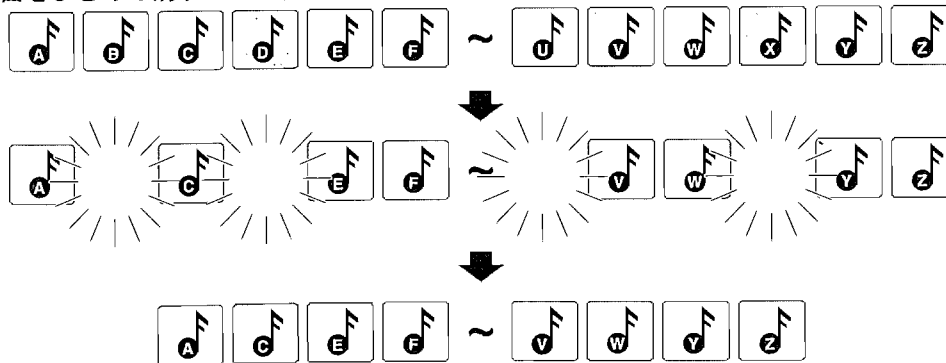


ミニディスクの編集終了後でも、現在までの編集を取り消し、ディスクを入れた状態まで戻すことができます。



"WRITING"表示中は、情報をミニディスクに書き込み中のため、振動や衝撃を加えないでください。

曲をまとめて消すイメージ

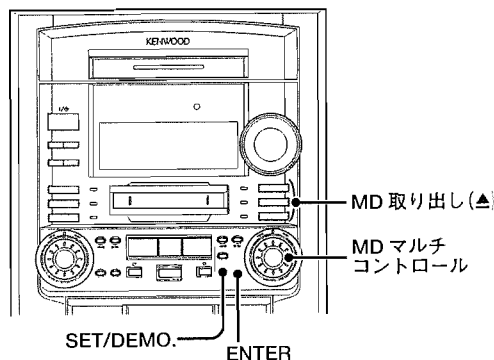


1曲消す (TRACK ERASE)

選んだ1曲のみを消去することができます。消した直後の曲のトラック番号が調節されます。消去すると元に戻せませんので、十分注意してください。

MD SEL. キーで編集したいミニディスクを選んでください。

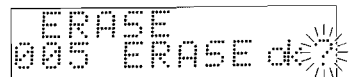
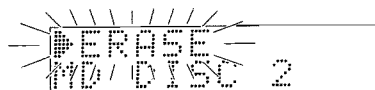
- 消したい曲を再生する
- 再生中にリモコンのTRACK EDITキーを押す
- MDマルチコントロールつまみを回して、"ERASE"を選ぶ
- SET/DEMO. キーを押して、確定する
 - 途中で8秒以上放置すると、編集は中止されます。
- 再度SET/DEMO. キーを押して、消したい曲(トラック番号)を確認する
- "ERASE ok?"の表示を確認したら、ENTERキーを押して、曲の消去を実行する
 - 消去された次の曲の最初で一時停止になります。
 - 曲が消去されます。(トラックタイトル含む)
 - 処理が終了するまで、少し時間がかかります。
 - "EDIT NOW"表示中にMD1~MD3(▲)キーや、ON / STANDBY(1/0)キーを押すと、消去が途中で中断されることがあります。
- 編集終了後、MD1~MD3 (▲)キーを押してミニディスクを取り出す



MD編集を途中で中止したいときは、もう一度TRACK EDITキーを押します。

MDマルチコントロールつまみを回して、選びます

- | | |
|-------------|----------------|
| ① "DIVIDE" | : 曲を分ける |
| ② "COMBINE" | : 曲をつなぐ |
| ③ "ERASE" | : 1曲消す |
| ④ "MOVE" | : 曲順を1曲ずつ入れ替える |



EDIT NOW!

COMPLETE!!

ミニディスクの編集終了後でも、現在までの編集を取り消し、ディスクを入れた状態まで戻すことができます。 -[67]



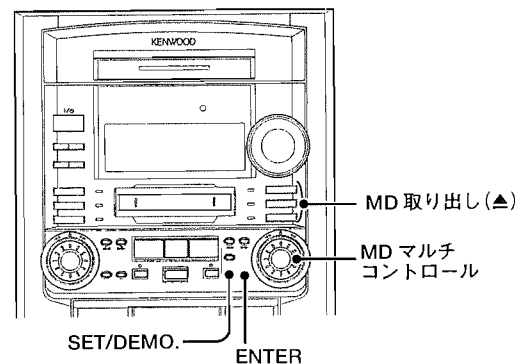
"WRITING"表示中は、情報をミニディスクに書き込み中のため、振動や衝撃を加えないでください。

MD内の曲を全て消す (ALL ERASE)

停止中に全曲消去することができます。ミニディスク全体を消去すると元に戻せませんので、十分注意してください。

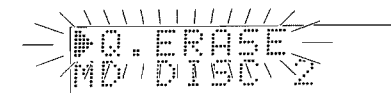
MD SEL キーで編集したいミニディスクを選んでください。

- リモコンのTRACK EDITキーを押す
- MDマルチコントロールつまみを回して、"Q.ERASE"を選ぶ
- SET/DEMO. キーを押して、確定する
 - 途中で8秒以上放置すると、編集は中止されます。
- "ALL ERASE"と表示したら、SET/DEMO. キーを押して、確定する
- "ALL ERASE ok?"の表示を確認したら、ENTERキーを押して、曲の消去を実行する
 - ミニディスクの全曲が消去されます。(ディスクタイトル含む)
 - 処理が終了するまで、少し時間がかかります。
 - "EDIT NOW"表示中にMD1~MD3(▲)キーや、ON / STANDBY(1/0)キーを押すと、消去が途中で中断されることがあります。
- 編集終了後、MD1~MD3 (▲)キーを押してミニディスクを取り出す



MD編集を途中で中止したいときは、もう一度TRACK EDITキーを押します。

- MDマルチコントロールつまみを回して、選びます
- "Q.MOVE" : 曲順をまとめて入れ替える
 - "EDIT CANCEL" : 編集した内容を取り消す (各種の編集直後のみ)
 - "Q.ERASE" : 曲をまとめて消す



Q.ERASE ALL ERASE ok?

EDIT NOW!

COMPLETE!!

BLANK DISC



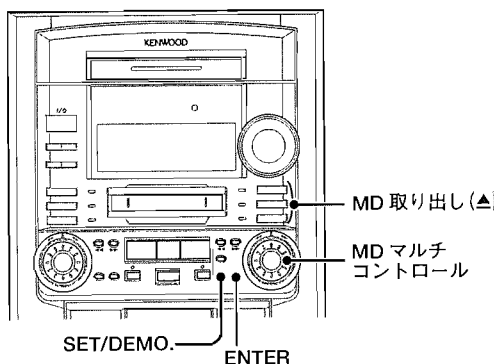
"WRITING"表示中は、情報をミニディスクに書き込み中のため、振動や衝撃を加えないでください。



ミニディスクの編集終了後でも、現在までの編集を取り消し、ディスクを入れた状態まで戻すことができます。 -[67]

曲の一部を消す

TRACK DIVIDE機能とTRACK ERASE機能を使って、曲の一部を消すことができます。



MD SEL. キーで編集したいミニディスクを選んでください。

1 "TRACK DIVIDE"機能を使って消したい部分を1つの曲にする。 - [54]

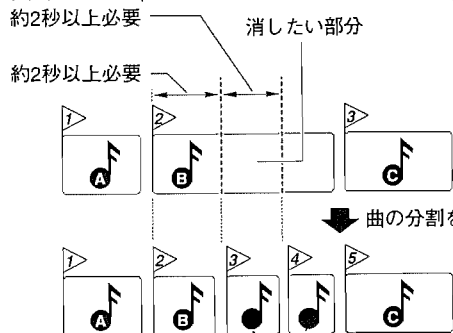
2 "TRACK ERASE"機能を使って消したい部分(曲)を削除する。 - [60]

3 編集終了後、MD1~MD3 (▲) キーを押してミニディスクを取り出す

ミニディスクの編集終了後でも、現在までの編集を取り消し、ディスクを入れた状態に戻すことができます。 - [67]

"WRITING"表示中は、情報をミニディスクに書き込み中のため、振動や衝撃を加えないでください。

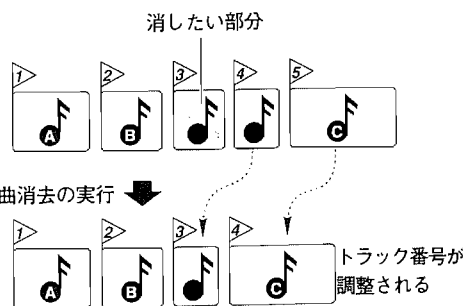
曲を分ける (TRACK DIVIDE) イメージ - [54]



DIVIDE機能で分割され、「曲」になる

- 曲の前半や後半だけを消去する場合は、1か所だけTRACK DIVIDEを行なってください。

1曲消す (TRACK ERASE) イメージ - [60]



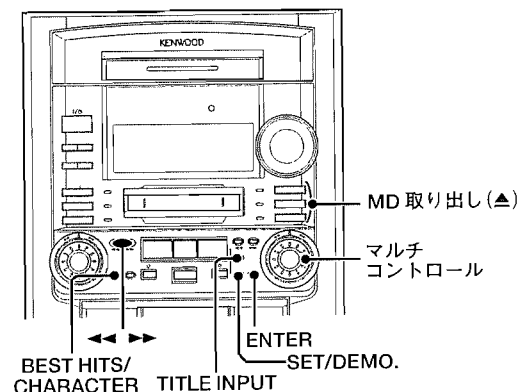
消えた分だけ前に詰められる

ミニディスクや曲にタイトルをつける (または変更、消去をする)

ミニディスクや曲にタイトルをつけておくと、再生のとき表示されるだけでなく、タイトルサーチ(タイトルで曲を探す)が可能になります。入力したタイトルは、同じ手順で変更や消去ができます。

タイトルの入力やタイトルのコピーはMDマルチコントロールつまみ、CDマルチコントロールつまみのどちらでもできます。

MD SEL. キーで編集したいミニディスクを選んでください。



1 TITLE INPUTキーを押す

- ミニディスクのデータ読みだし・書き込み表示の点滅中は、タイトル入力できません。
- ミニディスクから情報を読み込むため、少し時間がかかります。

2 マルチコントロールつまみを回して、ディスクタイトル(ミニディスク名)またはトラックタイトル(曲名)を選ぶ

- DISC、トラックともにタイトルをつけてない時は、"....."と表示されます。

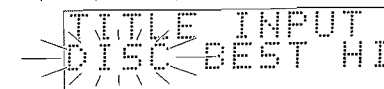
3 SET/DEMO. キーを押して、確定する

4 BEST HITS/CHARACTERキーを押して、入力する文字グループを選ぶ

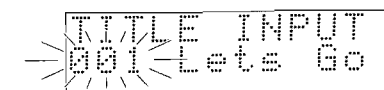
- 作業を途中で中止する場合や、間違えてやり直したい場合はTITLE INPUTキーを押してください。

MDタイトル編集を途中で中止したいときは、もう一度TITLE INPUTキーを押します。

ディスクタイトル(ミニディスク名)の場合



トラックタイトル(曲名)の場合



BEST HITS/CHARACTERキーを押すたびに切り換わります

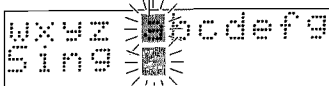
"...ABCDEFGH..." : アルファベット大文字
 "...abcdefgh..." : アルファベット小文字
 "...?@_0123..." : 各種記号・数字
 "...アイウエオカキ..." : カタカナ
 "...アイウエオツヤ..." : カタカナで選ばれた文字の
 小文字、濁音、半濁音
 "[123]" : コピーされたタイトル - [65]

各種の記号について
 次の各種の記号を選ぶことができます。

!"#\$%&'()*+,-./:;<=>?@_

次のページにつづく

選択カーソル



- 5** マルチコントロールつまみを回して、目的の文字を選択カーソルに合わせる

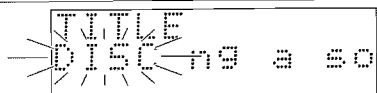
- 文字を消去するには、消したい文字にカーソルを合わせてREPEAT/DELETEキーを押します。

- 6** セット/デモ SET/DEMO.キーを押して、確定する

- 入力カーソルは、◀、▶キーで移動できます。
- 途中で文字グループをかえたい場合は、BEST HITS/CHARACTERキーを押して、選び直します。

手順④~⑥を繰り返して、タイトルを入力します。

- 7** エンター ENTERキーを押して、タイトルを書き込む



←入力されたタイトルがスクロールします

- 8** タイトル インプット TITLE INPUTキー押して、終了する

- 9** 編集終了後、MD1~MD3 (▲)キーを押してミニディスクを取り出す

タイトルを消去するには

- 1** タイトル インプット TITLE INPUTキーを押す
- 2** マルチコントロールつまみを回して、"TITLE ERASE"を選ぶ

TITLE ERASE

- "TITLE ERASE"はトラックタイトルの後に表示されます。

- 3** エンター ENTERキーを押して、"ALL ERASE ok?"の表示を確認する

- 4** 再度ENTERキーを押して、タイトルの削除を実行する
- ディスクタイトル、トラックタイトルとも全て消去されます。



ミニディスクの編集終了後でも、現在までの編集を取り消し、ディスクを入れた状態で戻すことができます。 (67)



"WRITING"表示中は、情報をミニディスクに書き込み中のため、振動や衝撃を加えないでください。



手順②の前に続けて手順②~⑦を繰り返せば、そのミニディスクのすべてのタイトル(ミニディスク名と曲名)をつけることができます。

入力できる文字数について

ミニディスク全体で文字入力できるエリアは最大1792文字、1曲につき最大80文字まで入力できます。(文字の種類によっては最大の文字数まで入力できない場合があります。)

スペース(1文字ぶんの空白)も、文字と同じ量のデータが必要とします。文字の削除(REPEAT/DELETEキー)をご利用ください。

キー機能について

◀、▶キー：
入力カーソルの位置を移動します。

リPEAT / DELETEキー：
カーソルを合わせた文字が消去(削除)され、それよりも後ろの文字が1文字ぶん前に詰められます。続けて押す(または押したままにして繰り返し入力する)と、簡単にタイトルを消去できます。

サウンド SOUNDキー：
カーソルを合わせた文字の直前にスペース(1文字ぶんの空白)が入力(挿入)され、それよりも後ろの文字が1文字ぶん後ろに送られます。

タイトルをコピーして、他のミニディスクや曲につける (TITLE COPY)

すでに入力されているディスクタイトル(ミニディスク名)またはトラックタイトル(曲名)をコピーして、他のトラックタイトルとして使うことができます。三つまでのトラックタイトルを記憶しておくことができます。

タイトルの入力やタイトルのコピーはMDマルチコントロールつまみ、CDマルチコントロールつまみのどちらでもできます。

再生専用または録音禁止(PROTECT)のミニディスクのタイトルはコピーできません。

MD SEL. キーで編集したいミニディスクを選んでください。

- 1** タイトルをコピーする

- 1** タイトル インプット TITLE INPUTキーを押す

- 2** マルチコントロールつまみを回して、"TITLE COPY [1]"を選ぶ

- 3** セット/デモ SET/DEMO.キーを押して、確定する
- ミニディスクのデータ読みだし・書き込み表示の点滅中は、タイトル入力できません。
 - ミニディスクから情報を読み込むため、少し時間がかかります。

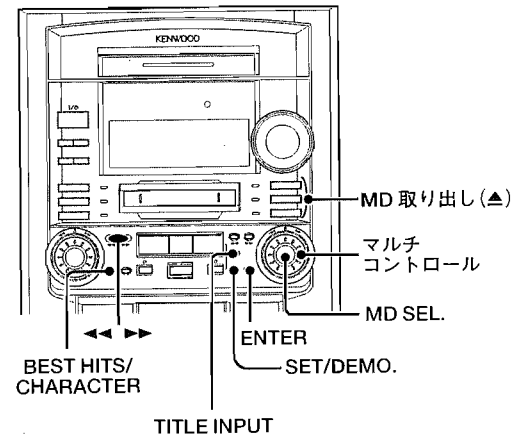
- 4** マルチコントロールつまみを回して、タイトルをコピーしたいディスクタイトル(ミニディスク名)またはトラックタイトル(曲名)を選ぶ

- 5** エンター ENTERキーを押して、タイトルのコピーを実行する

手順②~⑤を繰り返して、"TITLE COPY [1]"~"TITLE COPY [3]"まで記憶できます。

- TITLE COPY [1]~TITLE COPY [3]は、コピーしたタイトルを一時保存する場所です。

- 6** TITLE INPUTキーを押して、終了する



MD取り出し(▲)
マルチコントロール
MD SEL.
ENTER
SET/DEMO.
TITLE INPUT



MDタイトル編集を途中で中止したいときは、もう一度TITLE INPUTキーを押します。

"TITLE COPY [1]"を選んだ場合

TITLE COPY
DISC

ディスクタイトル(ミニディスク名)の場合

DISC COPY
DISC We Love

トラックタイトル(曲名)の場合

DISC COPY
001 You are

TITLE COPY
DISC You are

次のページにつづく

2 コピーしたタイトルを他のミニディスクや曲に付ける

- ① MD SEL.キーを押して、目的のミニディスクを選ぶ
- ② TITLE INPUTキーを押す
- ③ マルチコントロールつまみを回して、コピーしたタイトルを付けたいディスクタイトル(ミニディスク名)またはトラックタイトル(曲名)を選ぶ

ディスクタイトル(ミニディスク名)がすでに入っている場合

TITLE INPUT
DISC New Yor

トラックタイトル(曲名)がすでに入っている場合

TITLE INPUT
001 New York

- ④ SET/DEMO.キーを押して、確定する
- ⑤ ◀▶キーで入力カーソルをコピーしたタイトルを挿入したい所の直後の文字に合わせる
 - 既に付けられているタイトルをコピーしたタイトルと入れ替えたい場合は、REPEAT/DELETEキーを使って元のタイトルをすべて削除します。
- ⑥ BEST HITS/CHARACTERキーを押して、コピーされたタイトル"[1 2 3]"を選ぶ

[1 2 3] Japnes

BEST HITS/CHARACTERキーを押すたびに切り換わります

- "...ABCDEFGH..." : アルファベット大文字
- "...abcdefgh..." : アルファベット小文字
- "...?@_ '0123..." : 各種記号・数字
- "...アイウエオカキ..." : カタカナ
- "...アイウエオツヤ..." : カタカナで選ばれた文字の小文字、濁音、半濁音
- "[123]" : コピーされたタイトル - [65]

マルチコントロールつまみを回して、選びます

- ① "[1]" : コピーしたタイトル1
- ② "[2]" : コピーしたタイトル2
- ③ "[3]" : コピーしたタイトル3

TITLE STORE!!

- ⑦ SET/DEMO.キーを押して、確定する
- ⑧ ENTERキーを押して、コピーしたタイトルの挿入を実行する
- ⑨ TITLE INPUTキーを押して、終了する

3 編集終了後、MD1~MD3 (▲)キーを押してミニディスクを取り出す

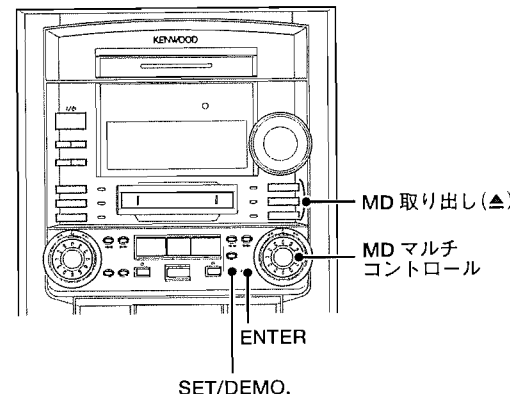
"WRITING"表示中は、情報をミニディスクに書き込み中のため、振動や衝撃を加えないでください。

ミニディスクの編集終了後でも、現在までの編集を取り消し、ディスクを入れた状態まで戻すことができます。 - [67]



編集した内容を取り消す (EDIT CANCEL)

停止中に次の操作を行うと、ディスクを入れてから現在までに行った編集を取り消すことができます。万が一、編集後にミニディスクを取り出したり、現在編集しているディスク以外のMD1~MD3キーを押したり、他の録音をしたりすると、取り消すことができなくなりますのでご注意ください。取り消した後、改めてご希望の編集を行ってください。



停止中に操作してください

1 編集後、本体からミニディスクを取り出す前にリモコンのTRACK EDITキーを押す

2 MDマルチコントロールつまみを回して、"EDIT CANCEL"を選ぶ

- MDマルチコントロールつまみを操作しても、"EDIT CANCEL"が表示されない場合は、編集を取り消すことができません。

- MDマルチコントロールつまみを回して、選びます
- ① "Q.MOVE" : 曲順をまとめて入れ替える
 - ② "EDIT CANCEL" : 編集した内容を取り消す (各種の編集直後のみ)
 - ③ "Q.ERASE" : 曲をまとめて消す

EDIT CANCEL

3 SET/DEMO.キーを押して、確定する

4 "CANCEL ok?"の表示を確認したら、ENTERキーを押して、実行する

EDIT CANCEL
CANCEL ok?

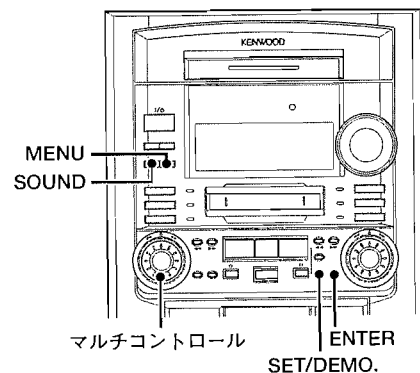
CANCEL NOW!

COMPLETE!!

5 編集終了後、MD1~MD3 (▲)キーを押してミニディスクを取り出す

"WRITING"表示中は、情報をミニディスクに書き込み中のため、振動や衝撃を加えないでください。

本機では、3通りのイコライザーと音場再生を選ぶことができます。イコライザーは聴く音楽ジャンルによってお好みで選んでください。また、音場モードは、お好みの雰囲気でお楽しみください。



音場効果を楽しむ

サラウンド 3D SURROUNDを体験する

3次元的な音響空間を作り出すシステムです。奥行き感や音場の広さなどが向上し、リスニングエリアも広がります。

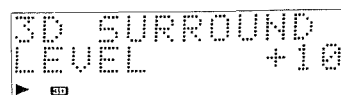
- 1 本体の^{サウンド}SOUNDキーを繰り返し押して "3D SURROUND ON" を表示させる



- 2 ^{メニュー}MENUキーを押して、マルチコントロールつまみで"3D SURROUND"を選びSET/DEMO.キーを押す

- 3 マルチコントロールつまみでレベルを調整する

- -10~+10の範囲で調節できます。
- 再生中の曲調などに合わせて、お好みの設定でお楽しみください。



効果の強さ(レベル)の表示

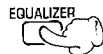
- 4 ^{エンター}ENTERキーでレベルを確定する

XT-3MD/XT-300MD (J)

お好みの音質で音楽を聴く (イコライザー機能)

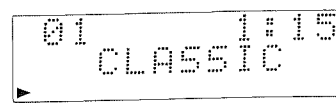
3通りのイコライザーパターンにより音楽ジャンルに合わせた音質で満足いく音楽環境を実現します。

- リモコンの^{イコライザー}EQUALIZERキーを押す



以下の表示の中から選べます。

- ① EQ OFF
- ② ^{ロック}ROCK
- ③ ^{クラシック}CLASSIC
- ④ ^{ポップ}POP



←選んだイコライザーモードがスクロール表示します

XT-3MD/XT-300MD (J)

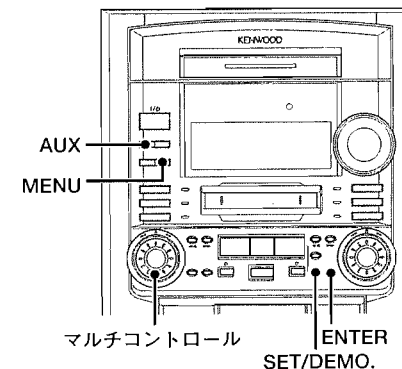
バランスとAUXインプットレベルの調整

バランス

左右の音量バランスを調整します。

AUXインプットレベル

AUX入力端子に接続された外部機器(ビデオデッキ等)からの音量の入力レベルを調整します。



バランスの調整

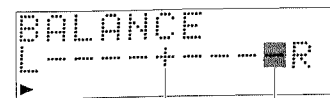
- 1 ^{メニュー}MENUキーを押す



- 2 マルチコントロールつまみを回して、^{セット}"BALANCE"を選んで^{デモ}SET/DEMO.キーを押す

- 3 マルチコントロールつまみを回して、バランスを調整する

右方向に操作: 左の音が小さくなる
左方向に操作: 右の音が小さくなる



中央を示します

バランスの設定を示します

- 4 ENTERキーでバランスを確定する

AUXインプットレベルの調整

- 1 AUXキーを押す



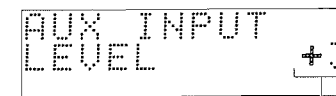
- 2 MENUキーを押す



- 3 マルチコントロールつまみを回して、^{セット}"AUX INPUT"を選んで^{デモ}SET/DEMO.キーを押す

- 4 マルチコントロールつまみを回して、入力レベルを調整する

右方向に操作: レベルが大きくなる
左方向に操作: レベルが小さくなる



設定レベル

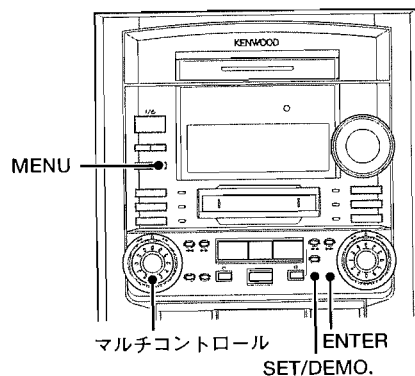
- +5~-5の範囲で調節できます。

- 5 ENTERキーで入力レベルを確定する



インプットレベルを調整すると、AUX入力端子に接続された外部機器からの録音レベルも変化します。

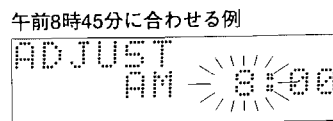
AUXキーを押すと時計表示になります。



- 1 ^{メニュー}MENUキーを2秒以上押す



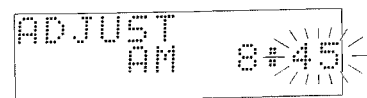
- 2 マルチコントロールつまみを回して、"時"を合わせる



- 3 ^{セット デモ}SET/DEMO.キーを押して確定する

●"分"表示が点滅します。

- 4 再度マルチコントロールつまみを回して、"分"を合わせる



- 5 ^{エンター}ENTERキーを押して確定する

- 間違えて押したときは、最初からやり直してください。
- 時報と同時にENTERキーを押すと正確な時刻表示ができます。
- 停電があったり、電源プラグをコンセントに入れ直したときは、時刻表示が点滅します。その場合は、もう一度時刻合わせをしてください。

マルチコントロールつまみを回す方向は・・・
 時計方向の操作(→) : 時刻が進む
 反時計方向の操作(←) : 時刻が戻る



オペレート イージー トゥー ユーズ タイマー (O.T.T.)

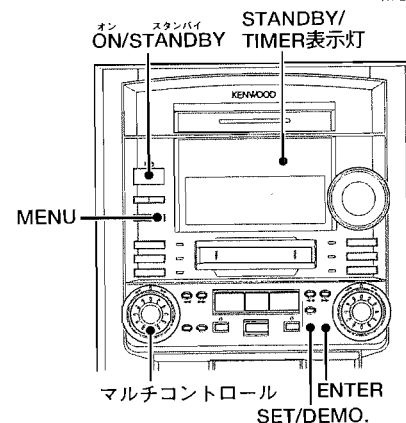
指定の時刻に、選んだ入力ソースの再生が始まり、1時間経つと電源がオフ(スタンバイ)になります。設定直後の1回だけ働きます。

おやすみタイマー (SLEEP)

設定した時間が過ぎると、自動的に電源が切れます。タイマー再生、タイマー録音 (PROG. 1、2) 設定した時間帯に、選んだソースを再生(または放送、外部入力を録音)します。

AI タイマー再生 (PROG. 1、2)

タイマー再生開始後、徐々に音量が大きくなり、一定の音量まで上がります。



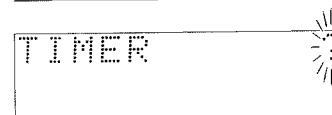
簡単にタイマーを設定する

オペレート イージー トゥー ユーズ タイマー (Operate easy To use Timer : O.T.T.)

時刻をセットするだけのカンタンな操作で、タイマー再生ができます。電源をオフ(スタンバイ)にする前に、最後に選ばれていたソースが再生されます。タイマー再生開始から1時間で、電源が自動的にオフ(スタンバイ)になります。

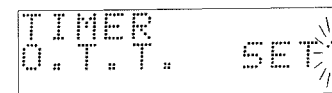
- 1 聴きたいソースを選び、音量を設定する
- 2 ^{メニュー}MENUキーを押す
- 3 マルチコントロールつまみを回して、"TIMER"を表示させる
- 4 ^{セット デモ}SET/DEMO.キーを押して確定する
- 5 再度マルチコントロールつまみを回して、"O.T.T."を表示させる
- 6 5秒以内に ^{セット デモ}SET/DEMO.キーを押して確定する

- SET/DEMO.キーを押すと、入力ソースおよび、オン時刻の表示になります。
- 再生する機器をかえたい場合は、手順 2 からやり直してください。



以下の表示の中から選びます。

- ① O.T.T.
- ② PROG. 1
- ③ PROG. 2



次のページにつづく

XT-3MD/XT-3DDMD (J)

- 7** O.T.T.の点灯中にマルチコントロールつまみを回して、再生させる時間を合わせ

● オン時刻は、5分単位で設定できます。

- 8** ENTERキーを押して確定する

- 9** リモコンの**TIMER**キーを押して"O.T.T."表示させる

- 10** ON/STANDBY (I/⏻) キーを押して、電源をオフ(スタンバイ)にする

● 本体の"STANDBY/TIMER"表示灯が緑色に点灯します。

音楽を聴きながら眠る (SLEEP 機能)

何分後に電源を切るかを設定します

電源をオン状態(現在再生中のモード)でリモコンのSLEEPキーを押す

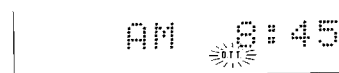
- セットした時間が過ぎると、自動的に電源がオフ(スタンバイ)になります。
- SLEEPキーを1回押すごとに10分単位で表示が変わります。最大90分まで設定できます。

10 → 20 → 30 70 → 80 → 90
→ 消灯 → 10 → 20

マルチコントロールつまみを回す方向は・・・
時計方向の操作(➡) : 時刻が進む
反時計方向の操作(➡) : 時刻が戻る

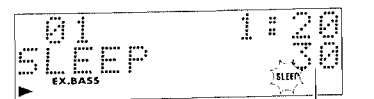


オン時刻の表示



解除するには

TIMERキーを押して、O.T.T.の表示が消えるまで繰り返し押す。



セットする時間

解除するには

電源をオフ(スタンバイ)にする、またはSLEEPキーを"SLEEP"表示が消えるまで繰り返し押す。

本機は、スリープタイマーの動作中に表示部の明るさが自動的に暗くなるように設定されています。(オートディマー機能)



XT-3MD/XT-3DDMD (J)

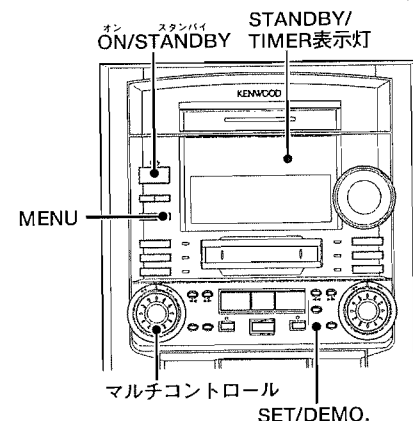
プログラムタイマー予約

2系統(プログラム1、プログラム2)の24時間タイマー(毎日働きます)です。

PROG. 1、PROG. 2には、働く時間帯と内容を予約しておき、必要に応じて、働かせるか、働かせないかを選べます。

- タイマー予約は、PROG. 1とPROG. 2の2種類を、同時に予約できます。
- PROG. 1とPROG. 2の働く時間帯が重ならないように、1分以上の間隔をあけて予約してください。

AUX端子に接続された機器の録音、再生の場合は"接続のしかた"を参照して、接続を済ませてください。



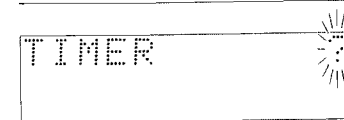
- 1** 聴きたい(録音したい)ソースを選び、音量を設定する

| 放送局を聴く | CDを聴く | 外部入力ソースを聴く | MDを聴く | テープを聴く | 録音する |
|--------------------------------|------------------------------|------------------------|--------------|----------------|---------------------------------------|
| 放送局をプリセットしておく - [29] - [30] | ディスクを入れる(プログラム再生はできません。) | AUX端子に接続した機器のタイマー設定をする | ディスクを入れる | テープをセットする。 | 録音の準備をする。 MD - [32] TAPE - [34] |

- 2** MENUキーを押す

● 再生する機器をかえたい場合は、手順 1 からやり直してください。

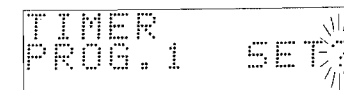
- 3** マルチコントロールつまみを回して、"TIMER"を表示させ、SET/DEMO.キーを押して確定する



- 4** 再度マルチコントロールつまみを回して、"PROG. 1"または"PROG. 2"を表示させ、SET/DEMO.キーを押して確定する

以下の表示の中から選びます。

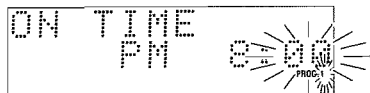
- ① O.T.T.
- ② PROG. 1
- ③ PROG. 2



次のページにつづく

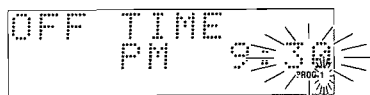
5 オン時刻を設定する

- マルチコントロールつまみを回して、“時”を設定しSET/DEMO.キーで確定する
●“分”表示が点滅します。
- 再度マルチコントロールつまみを回して、“分”を設定しSET/DEMO.キーで確定する



6 オフ時刻を設定する

- マルチコントロールつまみを回して、“時”を設定しSET/DEMO.キーで確定する
●“分”表示が点滅します。
- 再度マルチコントロールつまみを回して、“分”を設定しSET/DEMO.キーで確定する
 - 間違えたときはMENUキーを押してから、手順②からやり直してください。
 - “タイマーモード”表示が点滅します。



マルチコントロールつまみを回す方向は・・・
時計方向の操作(→) : 時刻が進む
反時計方向の操作(←) : 時刻が戻る



7 希望の予約を設定する

タイマー再生、AIタイマー再生をするとき

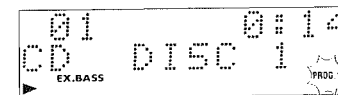
- マルチコントロールつまみを回して、“PLAY”または“AI PLAY”を選ぶ
 [PLAY]..... タイマー再生
 REC
 AI PLAY..... だんだん音が大きくなるタイマー再生
 MODE PLAY
 ●“音楽再生ソース”表示が点滅します。
- SET/DEMO.キーで確定する
- 聴きたい音楽ソースを選ぶ
マルチコントロールつまみを回して選ぶ。
 - TUNER..... 放送
 - CD..... CD
 - MD..... MD
 - TAPE..... テープ
 - AUX..... 外部入力
- 手順③で“MD”、“CD”、“TAPE”、“AUX”を選んだ場合はENTERキーを押す
“TUNER”を選んだ場合はSET/DEMO.キーを押して、マルチコントロールつまみでプリセットチャンネルを選んでからENTERキーを押す

放送、外部入力ソースのタイマー録音をするとき

- マルチコントロールつまみを回して、“REC”を選ぶ
 PLAY
 REC..... タイマー録音
 AI PLAY
 MODE REC
 ●“音楽録音ソース”表示が点滅します。
- SET/DEMO.キーで確定する
- 録音したい音楽ソースを選ぶ
マルチコントロールつまみを回して選ぶ。
 - TUNER..... 放送
 - AUX..... 外部入力
●TUNERとAUXの録音時には、自動的にMUTEがONになり、音は出ません。
- SET/DEMO.キーを押す
●“TUNER”を選んだらマルチコントロールつまみでプリセットチャンネルを選択し、SET/DEMO.キーを押してください。
●“録音機器”表示が点滅します。
- 録音したい機器を選ぶ
マルチコントロールつまみを回して選ぶ。
 - TAPE
 - MD DISC 1
 - MD DISC 2
 - MD DISC 3
- ENTERキーを押す

8 働かせたいプログラム番号をセットする

- リモコンのタイマーキーを繰り返し押し、表示部から“PROG. 1”または“PROG. 2”を選ぶ
●セットしたプログラム番号が点灯します。
- ON/STANDBY キーを押して電源オフ(スタンバイ)にする



- 本体の“STANDBY/TIMER”表示灯が緑色に点灯します。
- プログラム番号をセットしないとタイマーは働きません。

電源がオフ(スタンバイ)になっていることを確認してください。

再び同じ内容のタイマーをセットする

リモコンのタイマーキーを繰り返し押し表示部に“PROG. 1”、“PROG. 2”を点灯させる

- PROG.の内容は、一番最近に使った設定が実行されます。
- ディスク、MDの準備、音量の調節をしておきます。

タイマーを働かせたくないとき

リモコンのタイマーキーを繰り返し押し表示部から“PROG. 1”、“PROG. 2”を消灯させる

電源がオンの時に押す

- “PROG. 1”、“PROG. 2”ともに消灯させます。
- 予約内容は記憶しています。

メンテナンス

セットのお手入れ

前面パネル、ケースなどが汚れたときは、柔らかい布でからふきします。シンナー、ベンジン、アルコールなどは変色の原因になることがありますので、ご使用にならないでください。

参考

結露にご注意

本機と外気の温度差が激しいと、本機に水滴(露)が付くことがあります。この現象がおきますと、本機が正常に動作しないことがあります。

このようなときには、本機の電源をいれた状態で、数時間放置し、乾燥させてからご使用ください。

次のようなときは特に結露にご注意ください。
気温差の大きいところへ持ち込んだときや、湿気の多い部屋など。

メモリーバックアップ

| | |
|---------------------------------|--|
| 電源プラグをコンセントから抜くとすぐ消えるメモリーの内容 | 時計表示 |
| 電源プラグをコンセントから抜いて最低1日で消えるメモリーの内容 | 電源の状態 (オンまたはスタンバイ)、 A.P.S 入力切り換え、AUXレベル ボリュームの値 バランスの設定 受信バンド 周波数 プリセット放送局 プログラムの設定内容 3D SURROUND TONEの設定 |

MDレコーダー部

電源オフ(スタンバイ)あるいは、電源コンセントからプラグを抜いた状態でのメモリーの記憶時間は、約3日間です。長時間の停電や電源プラグ抜けなどによって、録音や編集に関する情報(ミニディスク取り出し時に記録される)がミニディスクに記録される前に消滅、または破壊されることがあります。また、消えてしまった情報は回復できません。録音、編集後には、録音、編集の情報を記録するために、必ずミニディスクを取り出してください。

接点復活剤について

接点復活剤は故障の原因となることがありますので、ご使用にならないでください。特にオイルを含んだ接点復活剤は、プラスチック部品を変形させることがあります。

輸送時または移動時のご注意

本機を輸送するときや、移動するとき、下記の操作を行ってください。

1. CD1~CD3(▲)キー、MD1~MD3(▲)キーを押して、CD、MDをすべて取り出します。
2. ディスプレイ部が図の表示になったことを確かめてください。

CD NO DISC

MD NO DISC

3. 数秒間待って、電源をオフ(スタンバイ)にします。

本機はドルビーラボラトリーズライセンスコーポレーションの米国および外国特許に基づく許諾製品です。


ステレオ音のエチケット



楽しい音楽も、時と場所によっては気になるものです。隣り近所への配慮を十分いたしましょう。ステレオの音量は、あなたの心がけ次第で大きくも小さくもなりません。特に静かな夜間には、小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には、特に気を配りましょう。窓を閉めたり、ヘッドホンをご利用になるのも一つの方法です。お互いに心を配り、快適な生活環境を守りましょう。

CDの取り扱いかた

本機で使用できるディスクについて

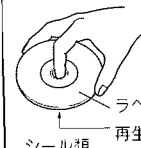
CD(12cm、8cm)、CDVとCD-G(CDグラフィックス)、CD-EXTRAの音声部分が再生できます。ディスクレーベル面にの「」マークが入ったものとIEC規格に合格したものをご使用ください。

異常なディスクは使用しない

再生中、ディスクはプレーヤー内で高速回転しています。ひびや欠けのあるディスク、大きくそったディスク等は絶対に使用しないでください。プレーヤーの破損、故障の原因になります。円形以外の形をしたディスクは、故障の原因になりますので、ご使用にならないでください。

ディスク取り扱い上のご注意

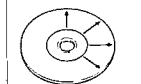
取り扱い
再生面にふれないように持ってください。



再生面はもちろん、ラベル面にも紙やテープなどを貼らないでください。



お手入れ
ディスクに指紋や汚れがついたときは、やわらかい布などで、放射状に軽くふきとってください。



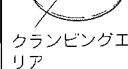
長い間使用しないときは、本機から取り出し、ケースに入れて保管してください。

CDアクセサリについて

音質向上やディスク保護を目的としたディスク用アクセサリ(スタビライザー、保護シート、保護リングなど)およびレンズクリーナーは、故障の原因になりますので、ご使用にならないでください。

レンタルCD、中古CDの取り扱いについて

図のようにクランピングエリアにシールが貼られているディスクはご使用にならないでください。シールから糊がはみ出したり、金属板が貼られている場合があり、ディスクが取り出せなくなる恐れがあります。

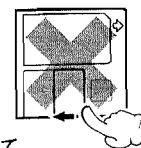


シール類を剥がした後、糊がラベル面に残っていると、故障の原因になります。糊のベタつきがある場合、必ずふき取ってからご使用ください。

ミニディスクの取り扱いかた

ミニディスクはカートリッジに入っているため、ゴミや指紋を気にしないで、手軽に扱うことができます。ただし、カートリッジの汚れやそりなどは、誤動作の原因になります。いつまでも美しい音を楽しむため、次のことにご注意ください。

ミニディスクに直接触れない
シャッターを手で開けて、ミニディスクに直接触れないでください。無理に開けるとこわれます。

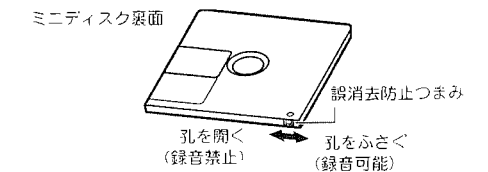


置き場所について
極端に温度の高いところ(直射日光の当たるようなところ)や、湿度の高いところには置かないでください。

ほこり対策について
セットの中では、ミニディスクのシャッターは常に開いています。従ってミニディスクにほこりが入るのを防ぐため、録音、再生が終わり出したら、速やかにミニディスクをセットから取り出してください。

お手入れのしかた
定期的に、カートリッジについてホコリやゴミを乾いた布でふき取ってください。

誤消去防止つまみ
録音した内容を誤って消さないためには、ミニディスクの誤消去防止つまみを開いた状態にしておきます。再び録音する場合は、つまみを元の状態に戻します。

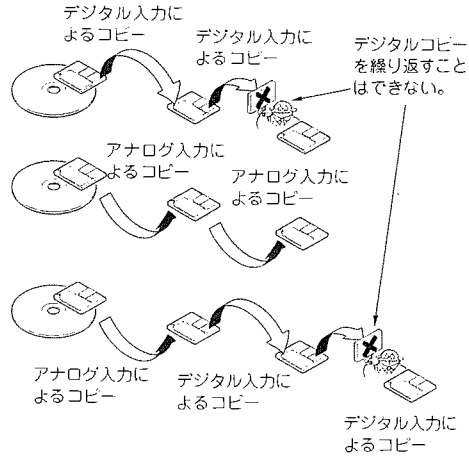


●録音禁止にすると、「PROTECTED」表示が点灯します。

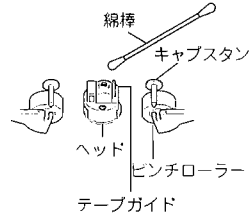
デジタル録音とSCMSについて

エスシーエムエス

SCMS(シリアルコピーマネージメントシステム)とは、著作権保護のため、各種のデジタルオーディオ機器の間でデジタル信号をデジタル信号のまま録音できるのは、一代だけと規定したものです。



ヘッドのお手入れ



ヘッドの消磁

録音・再生ヘッドが磁気を帯びると雑音が大きくなります。市販の消磁器(ヘッドイレーサー)で消磁してください。ヘッド回りのクリーニング

いつまでも最良の状態でご使用になるには、テープ再生時間約10時間ごとに、ヘッド(録音/再生/消去)、キャプスタン、ピンチローラーのクリーニングを心がけてください。クリーニングは、次の手順で行ってください。

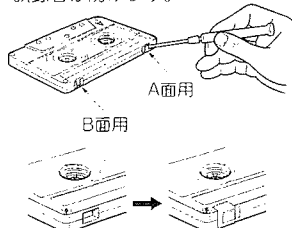
1. カセットホルダーを開けます。
2. ヘッド(録音/再生/消去)、およびキャプスタン、ピンチローラーを、市販のクリーニング液を含ませた綿棒で注意深くクリーニングします。

ヘッドのテープガイドなど、精密に調整された部分があります。クリーニングの際は、引っかけたり、強い衝撃などを加えないように注意してください。

カセットテープについてのご注意

誤消去防止装置

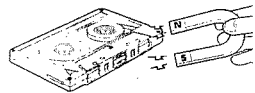
大切な録音のあとには、カセットのツメを折ってください。誤消去・誤録音が防げます。



再び録音するには ツメを折った所だけにテープをはる。

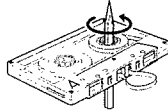
カセットテープの保管について

直射日光下や暖房器などのそばに放置しないでください。また、磁石や磁気は近づけないでください。



テープがたるんでいる場合

このような場合には、リール軸に鉛筆などを差し込んで、テープのたるみをとってから装着してください。



1. 110分以上のテープについて

110分以上のテープは大変薄く、ピンチローラーに巻きついたり、切れたリトラブルが発生しやすいので、ご使用はお避けください。

2. エンドレステープについて

エンドレステープは故障の原因となりますので、ご使用にならないでください。

故障かな?と思ったら

調子が悪いと故障と考えがちですが、サービスに依頼する前に、症状に合わせて一度チェックしてみてください。

マイコンをリセットするには

電源がオンのときの接続コードの抜き差しや、あるいは外部からの要因により、マイコンが誤動作(操作できない、ディスプレイの誤表示など)することがあります。この場合、次の手順をお試ください。マイコンがリセットされ、通常の状態に戻ります。

- リセットにより、各種の記憶内容は消滅し、工場出荷時の状態となります。ご了承ください。

電源プラグをコンセントから抜き、本体のENTERキーを押しながら、差し込み直す。

レシーバー/スピーカー部

| 症状 | 原因 | 処置 | 参照 |
|--------------------------|--|---|---|
| 音が出ない。 | <ul style="list-style-type: none"> ●スピーカーコードがはずれている。 ●音量を最小にしている。 ●MUTEがオンになっている。 ●ヘッドホンプラグが差込まれている。 | <ul style="list-style-type: none"> ●"接続のしかた"をみて正しく接続し直す。 ●適当な音量にする。 ●MUTEをオフにする。 ●ヘッドホンプラグを抜く。 | <p>— [10]</p> <p>— [18]</p> <p>— [19]</p> <p>— [19]</p> |
| "STANDBY"LEDが点滅し、音が出ない。 | <ul style="list-style-type: none"> ●スピーカーコードがショートしている。 | <ul style="list-style-type: none"> ●一時電源スイッチを切り、ショートを取り除き、再度電源スイッチを入れる。 | — [10] |
| ヘッドホンから音がでない。 | <ul style="list-style-type: none"> ●差し込みが不完全。 | <ul style="list-style-type: none"> ●正しく差し込む。 | — [19] |
| スピーカーの片側から音が出ない。 | <ul style="list-style-type: none"> ●スピーカーコードがはずれている。 ●バランスの設定が片寄っている。 | <ul style="list-style-type: none"> ●"接続のしかた"をみて正しく接続し直す。 ●左右のバランスを調節する。 | <p>— [10]</p> <p>— [69]</p> |
| 突然、電源が切れた。 | <ul style="list-style-type: none"> ●オートパワーセーブ機能(A.P.S.)が働いた。 | <ul style="list-style-type: none"> ●オートパワーセーブ機能(A.P.S.)を解除する。 | — [19] |
| 時刻表示が、ある時間で止まったまま点滅している。 | <ul style="list-style-type: none"> ●停電があった。 ●電源プラグを一度抜いた。 | <ul style="list-style-type: none"> ●現在時刻をもう一度合わせる。 ●現在時刻をもう一度合わせる。 | — [70] |
| タイマーが作動しない。 | <ul style="list-style-type: none"> ●現在時刻を合わせていない。停電があった。 ●タイマーのオン時刻とオフ時刻を設定していない。 ●タイマーのオン時刻とオフ時刻が同じである。 ●タイマーの実行指定をしていない。 | <ul style="list-style-type: none"> ●"時刻合わせ"をみて現在時刻を合わせる。 ●タイマーのオン時刻とオフ時刻を設定する。 ●タイマーのオフ時刻をオン時刻より遅い時間に設定する。 ●"動かせたいプログラム番号をセットする"をみて"1"または"2"表示を点灯させる。 | <p>— [70]</p> <p>— [74]</p> <p>— [75]</p> |
| 放送局が受信できない。 | <ul style="list-style-type: none"> ●アンテナを接続していない。 ●放送バンドが合っていない。 ●受信したい放送局の周波数に合っていない。 | <ul style="list-style-type: none"> ●アンテナを接続する。 ●放送バンドを合わせる。 ●受信したい放送局の周波数に合わせる。 | <p>— [9]</p> <p>— [28]</p> |
| 雑音が入る。 | <ul style="list-style-type: none"> ●自動車のイグニッションノイズ。 ●電気器具の影響によるもの。 ●テレビが近くにある。 | <ul style="list-style-type: none"> ●外部アンテナを道路から離して設置する。 ●電気器具の電源を切ってみる。 ●テレビから離す。 | |

レシーバー/スピーカー部

| 症状 | 原因 | 処置 | 参照 |
|----------------------------|--|--|------------------|
| プリセットしたあと、プリセットコールで受信できない。 | <ul style="list-style-type: none"> ●プリセットした放送局が、受信できない周波数である。 ●長い間、電源コードを抜いていたため、メモリーが消えてしまった。 | <ul style="list-style-type: none"> ●受信できる周波数の放送局をプリセットする。 ●もう一度プリセットする。 | - [29] |
| 突然、デモンストレーションが始まった。 | <ul style="list-style-type: none"> ●電源プラグを抜いた、あるいは停電があった。 | <ul style="list-style-type: none"> ●故障ではありません。SET/DEMOキーを押して、解除してください。 | - [3] |
| ディスクを入れても再生できない。 | <ul style="list-style-type: none"> ●ディスクが裏返しに入っている。 ●ディスクがずれている。 ●ディスクがひどく汚れている。 ●ディスクに傷がついている。 ●光学レンズに露がついている。 | <ul style="list-style-type: none"> ●ラベル面を上にして、正しく入れる。 ●ディスクを正しく入れ直す。 ●"ディスク取り扱い上のご注意"を参照し、ディスクを清掃する。 ●ディスクを取り替える。 ●"結露にご注意"を参照し露を蒸発させる。 | - [20] - [77] |
| 音が出ない。 | <ul style="list-style-type: none"> ●ディスクが入っていない。 ●再生状態になっていない。 ●ディスクがひどく汚れている。 ●ディスクに傷がついている。 | <ul style="list-style-type: none"> ●ディスクを入れる。 ●▶/II キーを押す。 ●"ディスク取り扱い上のご注意"を参照し、ディスクを清掃する。 ●ディスクを取り替える。 | - [20] - [77] |
| 音とびがする。 | <ul style="list-style-type: none"> ●ディスクが汚れている。 ●ディスクに傷がついている。 ●本機に振動が加わっている。 | <ul style="list-style-type: none"> ●"ディスク取り扱い上のご注意"を参照し、ディスクを清掃する。 ●ディスクを取り替える。 ●振動のない場所に設置する。 | - [77] |

リモコン

| 症状 | 原因 | 処置 | 参照 |
|--------------|--|--|--------|
| リモコンで操作できない。 | <ul style="list-style-type: none"> ●電池切れ。 ●操作する位置が遠すぎる、角度がずれている。または障害物がある。 ●再生しようとする音源のCDまたはMDが入っていない。 ●録音中のMDで再生しようとしている。 | <ul style="list-style-type: none"> ●新しい電池に入れ替える。 ●操作範囲内で操作する。 ●CDまたはMDを入れる。 ●録音が終わるまで待つ。 | - [16] |

MDレコーダー部 (MD規格等の症状)

| 症状 | 原因 |
|---------------------------------|---|
| まだ録音可能時間があるのに"DISC FULL"と表示される。 | <ul style="list-style-type: none"> ●255曲以上(トラック番号255以上)は録音できません。(トラック番号255未満でも録音できないことがあります。)このとき、ディスプレイのリメインタイム表示は、"0:00"になります。 |
| 短い曲を消しても、記録可能時間が増えない。 | <ul style="list-style-type: none"> ●ミニディスク全体の残り時間が12秒未満の場合は、ディスプレイの録音可能時間表示は、"0:00"になります。消去された曲の合計時間が12秒を超えると録音可能時間の表示が変化します。 ●編集を繰り返したミニディスクの場合、短い曲を消しても、残量時間が増えないことがあります。 |
| 曲をつなぐことができない。 | <ul style="list-style-type: none"> ●編集処理の結果として生まれた曲は、つなげない場合があります。 |

MDレコーダー部 (MD規格等の症状)

| 症状 | 原因 |
|--|---|
| 録音ずみの時間と、録音可能時間の合計がMD全体の記録時間(60分、74分)と一致しない。 | <ul style="list-style-type: none"> ●2秒間を最小単位として録音が行われるため、表示時間が一致しないことがあります。 |
| 編集でできた曲で早送り、早戻しをすると、音が途切れる。 | <ul style="list-style-type: none"> ●さまざまな条件の組み合わせにより、音切れが発生する場合がありますが、故障ではありません。 |
| トラック(曲)番号が正しく付かない。 | <ul style="list-style-type: none"> ●録音したソース(CDほか)の内容によっては、短い曲ができることがあります。 |
| " ^{リーディング} READING"が表示される時間が異常に長い。 | <ul style="list-style-type: none"> ●新品の録音用MD(全く録音されていないもの)を入れた場合、通常よりも長い間"READING"が表示されます。 |
| モノラル長時間モードで録音されたディスクのとき、時間表示が不正確になる。 | <ul style="list-style-type: none"> ●モノラル長時間録音とステレオ録音が、それぞれ異なるフォーマットで行われるため、故障ではありません。 |
| タイトルが1792文字入らない。 | <ul style="list-style-type: none"> ●タイトルの記録エリアは、7文字単位で使用されているため1792文字入りきらない場合があります。 |

MDレコーダー部 (その他の症状)

| 症状 | 原因 | 処置 | 参照 |
|------------------------------|--|--|--------------------------------------|
| ミニディスクの再挿入がスムーズに入らない(挿入が重い)。 | <ul style="list-style-type: none"> ●取り出しの動作の直後に再挿入しようとしている。 | <ul style="list-style-type: none"> ●一度ミニディスクを挿入口から完全に抜き出してから、再度挿入する。 | |
| 再生キーを押しても音が出ない。 | <ul style="list-style-type: none"> ●ミニディスクが入っていない。 ●未録音ディスクが入っている。 | <ul style="list-style-type: none"> ●ミニディスクを入れる。 ●録音済ミニディスクまたは再生用ミニディスクを入れる。 | - [22] - [22] |
| 録音ができない。 | <ul style="list-style-type: none"> ●ミニディスクが書き込み禁止になっている。 ●SCMSによりデジタルコピー禁止のソースをデジタル録音しようとしている。 ●AUX録音時の録音レベルが低い。 ●再生専用ミニディスクが入っている。 ●録音可能なエリアがない。 ●入力切り換えがMDになっている。 ●録音時間が短すぎる。 | <ul style="list-style-type: none"> ●書き込み禁止つまみを元に戻すか、録音可能なディスクに取り替える。 ●録音はできません。 ●入力レベルを調節する。 ●録音用ミニディスクを入れる。 ●ミニディスクを入れ替える。 ●入力切り換えを録音したいソースにする。 ●一秒以上のトラックを録音する。 | - [77] - [78] - [69] - [33] |
| 音がひずむ。 | <ul style="list-style-type: none"> ●アナログ録音時に録音レベルの設定をしていない。 ●ひずんだ音で録音されたミニディスクを再生している。 | <ul style="list-style-type: none"> ●AUX機器の入力レベルを調節する。 ●再度録音をする。 | - [69] |
| 雑音が大きいです。 | <ul style="list-style-type: none"> ●外部の雑音を誘導している。 | <ul style="list-style-type: none"> ●電気器具、テレビなどから離す。 | |
| 録音、再生が途中で止まる。 | <ul style="list-style-type: none"> ●ディスクを挿入口のところに放置している。 ●録音、再生中にディスクを入れようとした。 ●極端に残り時間の短いディスク、再生時間の短いディスクを入れた。 | <ul style="list-style-type: none"> ●ディスクを取り出す。 ●ディスクを取り出して、初めからやり直す。 ●ディスクをかえる。 | |

MDレコーダー部(メッセージ表示の一覧)

| ディスプレイ表示 | 意味 | 処置 | 参照 |
|----------------------------|---------------------------------------|---|-------|
| ディスク NO DISC | ●ミニディスクが入っていない。 | ●ミニディスクを入れる。 | →[22] |
| オン SCMS ON | ●SCMSによりデジタルコピー禁止のソースをデジタル録音しようとしている。 | ●録音できません。 | →[78] |
| ディスク フル DISC FULL | ●録音可能なエリアがない。 ●256曲目を録音しようとしている。 | ●録音用ミニディスクを入れ換える。 ●1枚のディスクには256曲以上録音できません。 | |
| タイトル フル TITLE FULL | ●最大文字数の制限を超えて、タイトルを入力しようとしている。 | ●"入力できる文字数について"を参照してください。 | →[64] |
| フラック ディスク BLANK DISC | ●何も録音されていないミニディスクです。 | ●再生するときは、録音済みのミニディスクに取り換える。 | |
| リーディング READING | ●TOC *1、UTOOC *2情報を読んでいます。 | ●故障ではありません。 | |
| ライティング WRITING | ●編集、録音時の各種の情報を書き込んでいる。 | ●故障ではありません。 | |
| ディスク エラー DISC ERROR | ●TOC *1、UTOOC *2の内容が異常である。 | ●"ALL ERASE"を行う。それができないときは、ディスクを取り換えてください。 | →[61] |
| キャンセル エディット CANNOT EDIT | ●長さが短すぎる曲の消去など、制限を超えて編集しようとしている。 | ●制限範囲内で編集する。 | |
| ? の点滅 | ●"編集を実行してもよろしいですか"という確認のためのメッセージ。 | ●ENTERキーを押すと、編集が実行されます。 | |
| プロテクト PROTECTED! | ●ミニディスクが録音禁止の状態(PROTECT)になっている。 | ●録音可能状態(PROTECTを解除)にする。 | →[77] |
| プレイ オンリー PLAY ONLY! | ●再生専用ミニディスクである。 | ●録音用ミニディスクをいれる。 | |
| ブック オーディオ NOT AUDIO | ●オーディオ用でないデータが記録されている。 | ●ディスクを取り替える、または他の曲を選ぶ。 | |
| メカ イニシャル MECHA INIT. | ●MDレコーダーのメカニズム部の初期化中であることを示します。 | ●故障ではありません。 | |

*1 すべてのミニディスクには音声信号以外にTOC(Table of Contents)という情報が記録されています。TOCとは本の目次に相当し、曲数や演奏時間、文字情報などのうち、書き直すことのできないものが入っています。

*2 TOC以外に録音用ミニディスクに特有な情報をUTOOCと呼びます。このUTOOCには、曲数や演奏時間、文字情報のうち、書き直し可能な情報が入っています。

保証書 (別途添付)

製品には保証書が(別途)添付されています。保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめの上、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保証期間

保証期間は、お買い上げの日より1年間です。電池や、一部の消耗部品の交換、ならびに落下、水没など、不適切なご使用による故障の場合は、保証期間内でも有料となります。詳しくは保証書をご覧ください。

修理に関するご相談ならびにご不明な点は

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店またはケンウッドのサービスセンター、サービスステーション、営業所へお問い合わせください。(お問い合わせ先は、添付の"ケンウッドサービス網"をご覧ください。)

修理をご依頼になるときは

"故障かな?と思ったら"に従って調べていただき、なお異常があるときは、製品の使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店またはケンウッドのサービスセンター、サービスステーション、営業所にお問い合わせください。

この製品の故障・誤動作・不具合などによって発生した次に掲げる損害などの付随的損害の補償につきましては、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
●お客様または第三者がテープ・ディスクなどへ記録された内容の損害
●録音・再生などお客様または第三者が製品利用の機会を逸したことによる損害

保証期間中は

保証期間中は保証書の規定に従って、お買い上げの販売店またはケンウッドのサービスセンター、サービスステーション、営業所が修理をさせていただきます。修理に際しましては保証書をご提示ください。

出張修理/持込修理

「出張修理」、「持込修理」のどちらが適用されるかは機種によって異なります。保証書の記載をご確認ください。出張修理を依頼される場合は、次のことをお知らせください。

- 製品名
- 製造番号 (Serial No.)
- お買い上げ年月日
- 故障の症状(できるだけ具体的に)
- ご住所(ご近所の目印等も併せてお知らせください)
- お名前、電話番号、訪問ご希望日

補修用性能部品の最低保有期間

ステレオの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後、8年間です。この期間は、通商産業省の指導によるものです。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

シリアル番号について

システム商品の各機器にシリアル番号が付けられておりますが、保証書にはシステム管理用として、別のシリアル番号が印刷されています。付属の保証書で、お買い上げのシステム機器(基本システム)すべての保証修理が受けられます。

保証期間が過ぎているときは

保証期間が過ぎているときは、修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

修理料金の仕組み

(有料修理の場合は、次の料金をいただきます)

- 技術料: 故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等の設備費や、一般管理費などが含まれています。
- 部品代: 修理に使用した部品の代金です。その他、修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
- 出張料: 製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

お買い上げ店名

電話 () -